

高文連

第16号

山口県高等学校文化連盟

葛文連

第 16 号

も く じ

あいさつ	1
山口県高等学校文化連盟各部門の報告	2
第26回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
(音楽関係4部門)	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠部門	23
展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	24
囲碁部門	28
演劇部門	29
放送部門	30
将棋部門	31
文芸部門	32
第28回全国高等学校総合文化祭の記録	33
器楽・管弦楽部門	35
合唱部門	36
吹奏楽部門	37
マーチングバンド・バトントワリング部門	38
日本音楽部門	39
美術・工芸部門	40
書道部門	41
写真部門	42
囲碁部門	43
放送部門	44
将棋部門	45
文芸部門	46
自主事業	47

参考資料

平成16年度山口県高等学校文化連盟<事業報告・会計決算書>	52
平成17年度山口県高等学校文化連盟<事業計画・会計予算書>	54
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定(会計、事務局、表彰、旅費支給基準)	56
平成16・17年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	61
全国高文連の歌	63



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会 長 中 島 俊 泰

「ルネッサながと」の劇場いっばいに高らかなファンファーレが鳴り響き、高校生のみずみずしい感性と熱気溢れる若い力が躍動した第26回山口県高等学校総合文化祭の総合開会式を皮切りに、県内各地で開催された各部門の発表大会は、沢山の高校生や地域の方々に深い感銘を与え、多くの成果を収めて、成功裏にその幕を閉じることができました。

また、徳島県で開催された第28回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ36校168名が参加し、放送部門（ビデオメッセージ部門）で優秀賞を受賞した岩国総合高校をはじめ、参加した生徒諸君それぞれが日頃の精進によって培われた力を遺憾なく発揮し、各部門で生き生きと活躍しました。

折しも台風10号の四国上陸により、日程の変更や縮小を余儀なくされた部門があったため、発表できなかった学校には誠に残念で悔しい思いをされたことと思いますが、徳島県の高校生諸君の温かいおもてなしと様々な立場にある高校生が一つの目的のもとに団結し、明るく真摯に取り組むその姿に爽やかな感動を覚えました。

これら県内外で繰り広げられた大会等に参加した感性豊かな高校生にとって、創造・感動・喜び、そして交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思っております。

山口県高等学校文化連盟では、高校生が水準の高い優れた文化や芸術にふれあう機会をつくり、感性を育み高めていくことを目的に、自主文化事業を企画しております。今年度は音楽や演劇など、10公演を県内各校で開催し、好評のうちに終了することができました。

また、平成18年11月3日（文化の日）から10日間、「やまぐち発 心ときめく文化維新」をテーマに「第21回国民文化祭・やまぐち2006」を本県で開催いたしますが、この国民文化祭の開催が一過性のイベントにならないよう、これを契機に次代を担う青少年の文化環境づくりを進めることとしております。こうした観点から、各イベントにジュニア部門を設けたり、子供のためのワークショップなども企画されております。

今後、この計画が具体化していく中で、各イベントへの高校生の出演・参加など、将来の文化・芸術の担い手である高校生を擁する県高文連の果たす役割は極めて大きいものがあると思われます。本連盟への尚一層の御支援・御協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、本年度も終始温かい御指導を賜りました県教育委員会をはじめ、関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げます、発刊の御挨拶といたします。

山口県高等学校文化連盟＜各部門の報告＞

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田 幸生

(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

* 6月17日(木)

* 曲目「大地讃頌」

「ハレルヤ・コーラス」

「翼をください」

* 指揮／山本 明子

* 参加出演／器楽・管弦楽部門 105名

2. 平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

* 6月18日(金)、19日(土)

* 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

* 参加出演／7校 約300名

3. 第28回全国高等学校総合文化祭福井大会

* 8月2日(月)

徳島文理大学むらさきホール

* 山口県代表 岩国高等学校

* 曲目／プレリュード3

4. 平成16年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

* 12月6日(月)

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者8名

* 第24回器楽・管弦楽スプリングコンサート

(柳井大会)、県総文、全総文、高文連表彰、役員改選などについて協議

5. 第24回器楽・管弦楽スプリングコンサート

* 平成17年3月26日(土) サンビーム柳井

* 参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏

第26回山口県高等学校
総合文化祭総合開会式 ▶
(ルネッサながと)



合唱部門

理事長 有 富 美 子

(萩高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会

(開幕式典に備えての講習会)

- ・平成16年5月29日(土)
- ・講師／國元 隆生(山口県立豊浦養護学校教諭)
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」
- ・場所／山口県教育会館大ホール
- ・参加者／9校 191名

ミニコンサートから始まった講習会は、先生の美しい声に生徒たちはまず大感激しました。又、歌うことの楽しさや歌に賭ける想いをユーモアたっぷりに分かりやすくお話しながらの素晴らしいコンサートでした。続いて発声を中心とした、楽しく分かりやすいご指導をいただきました。「最上川舟歌」をモチーフに、響き作りの大切さを自ら歌ってご指導いただいたことは、生徒たちに良い刺激を与えて頂きました。今回得たものを元に、平素の活動がより楽しく充実したものになるよう工夫したいものです。近年、総人数は増えてますが参加校が減少しているのが気になります。

2. 平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏

- ・6月17日(木)
- ・山口県高等学校管弦楽団との

合同演奏

- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」
- ・山口県高等学校合唱団／9校 203名
- 今年は、昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」としました。日ごろ少人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となりました。ホールの音響を心配していましたが、大人数に助けられました。

3. 平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・6月18日(金)、19日(土)
- ・ルネッサなごと
- ・合唱部門出演者／9校 259名

4. 第28回全国高等学校総合文化祭

- ・8月3日(火)
- ・徳島文理大学むらさき大ホール
- ・山口県代表／山口中央高等学校合唱部
指揮 角中悦太郎
伴奏 中谷友里恵

- ・曲目／Ecco mormorar l'onde
作詞 Torquato Tasso
作曲 Claudio Monteverdi
- ・曲目／私と小鳥と鈴と
作詞 金子みすゞ
作曲 鈴木 憲夫

5. 平成16年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・12月7日(火)
- ・萩高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下7名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて



吹奏楽部門

理 事 長 藤 本 博 途

(岩国商業高等学校教諭)



平成16年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

総合開会式は、「創り出そう自分色 広げよう感動の輪」というテーマのもと、大津高等学校主管で平成16年6月17日（木）ルネッサながとで盛大に開催されました。吹奏楽部門は長北地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、美祿高校の下濃正浩先生、長門高校の山本和徳先生の指揮のもとで、式典並びに慶祝演奏に参加しました。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日18日（金）、19日（土）の2日間、音楽4部門発表会・連合音楽会が同じくルネッサながとで開催されました。吹奏楽部門には53校1,780名の生徒が参加し、素晴らしい演奏を披露してくれました。

3. 全総文徳島大会

全総文徳島大会は8月2日（月）鳴門市文化会館で開催され、山口県代表として徳山高等学校吹奏楽部（椎木浩二先生指揮）が出場されま

した。

管弦楽組曲「第6の幸福をもたらす宿」などを披露されました。熟練した指揮のもと、素晴らしい演奏で、聴衆は万雷の拍手で応えていました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を1月28日（金）山口南総合センターで開催いたしました。県下40名の吹奏楽指導担当者が出席し、本年度事業報告や来年度事業計画、県総文の開催日程、全総文青森大会への参加推薦等の多くの協議事項に対して活発な意見交換がなされました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

総会終了後、部会研修会を開催いたしました。おかやま山陽高等学校の指揮者である松本壮史氏を講師にお迎えし、山口県鴻城高等学校吹奏楽部をモデルバンドとして、指揮の基礎と楽曲アナリーゼの講習を行いました。全国大会に常連の先生の講習会だけに、非常に有意義な講習となりました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 熊野文政

(佐波高等学校教諭)

平成16年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動について報告いたします。

1. 第26回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式における慶祝演奏

平成16年6月17日（木）にルネッサながとにおいて行われました。本部門では、山口県鴻城高校吹奏楽部のマーチングと、誠英・慶進両高校のバトントワリング部との合同演奏・演技が披露されました。

・曲目「いとしのエリー」
「TSUNAMI」

2. 第26回山口県高等学校総合文化祭 音楽4部門発表会

本部門の発表は、平成16年6月18日（金）にルネッサながとにおいて行われました。マーチングで山口県鴻城高校、バトントワリングで誠英高校と慶進高校が出演しました。

3. 第28回全国高等学校総合文化祭

今年度の徳島大会には、誠英高校・慶進高校のバトントワリング部が、山口県合同チームとして参加しました。平成16年7月30日（金）に徳島市街で行われたパレード部門では、はつら

つとした演技で大会のオープニングに華をそえました。

8月1日（日）にはアスティとくしまでマーチングバンド・バトントワリング部門が行われました。台風10号上陸により大会の実施が危ぶまれましたが、ほぼ予定どおりに運営されました。県合同チームは、「SUMMER OF PASSION」というテーマで息の合った演技を披露しました。

4. 平成16年度山口県高等学校文化連盟

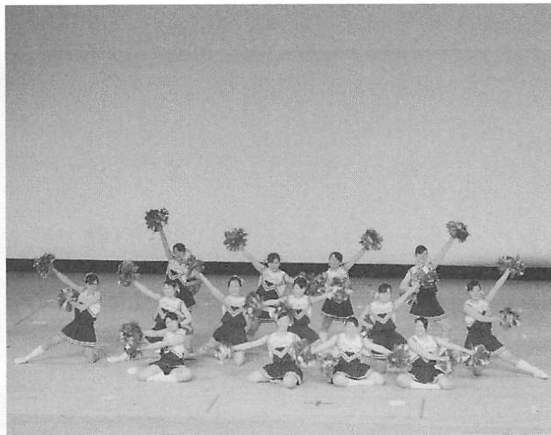
マーチングバンド・バトントワリング部会

平成16年12月13日（月）に佐波高校で開催しました。7名の理事が出席され、県高総文祭、全国高総文祭、高文連表彰、部門研修などについて話し合いました。

5. 部門研修

バトントワリングでは、横山久美子先生を講師にお迎えし、5月と7月に計3回の講習会を実施しました。

マーチングでは、12月25日（土）・26日（日）の2日間、国立山口徳地少年自然の家において、山口県吹奏楽連盟と合同主催の講習会を実施しました。



日本音楽部門

理事長 宮本 睦美

(田布施農業高等学校教諭)

平成16年度山口県高文連日本音楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 第26回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式 慶祝演奏

6月17日(木)ルネッサながとにおいて、大津高等学校の主管で盛大に総合開会式が行われました。各専門部紹介後の慶祝演奏では、大嶺高等学校箏部が「わらべ唄」を演奏しました。幼い頃に誰もが一度は耳にしたり、口ずさんだりしたことのある懐かしい旋律が、聴いている者の心を和ませてくれるような気がしました。

2. 第26回山口県高等学校総合文化祭

日本音楽・吟詠部門発表会

今年度の発表会は6月12日(土)、萩高等学校主管で萩市民館大ホールにて開催されました。日本音楽部門に13校、吟詠剣仕舞部門に1校、郷土芸能部門に2校が参加し、117名の生徒達がステージ上で日頃の活動の成果を披露しました。吟詠剣仕舞部門は部門としては休部中ですが、例年この大会に共に参加しています。

各校の演奏曲目や演奏形態にも独自の工夫が見られ、ステージ内容は回を重ねるごとに、よ

り充実したものになってきています。特に、フルートを交えた演奏はとても新鮮で、日本音楽の新たな可能性を感じさせるものでした。

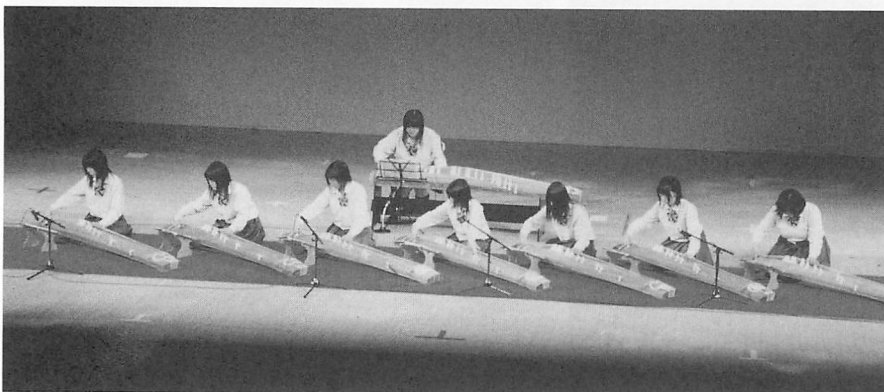
今回3回目となる合同演奏では6校から18名の生徒が参加しました。リハーサルなしのぶっつけ本番にもかかわらず、出演生徒達が心を一つにして演奏しました。また、この演奏に特別参加してくれた萩高等学校合唱部の生徒達の澄んだ歌声がホール中に響き渡り、演奏を盛り上げてくれました。

3. 第28回全国高等学校総合文化祭

徳島大会

7月31日(土)・8月1日(日)に阿南市市民会館で開催される予定になっていた大会は台風10号接近のために1日目の全日程が中止となり、8月1日のみの部分開催という異例の形になりました。演奏も抽選で当選した18校のみに限られました。県代表として参加した萩高等学校は暴風雨のさなか、苦労の末に徳島入りしたにもかかわらず、結局演奏の機会もなく残念な結果となりました。しかし、全国大会ならではのレベルの高い演奏に触れることは、大変貴重

な経験であり、今後の活動に対する大きな励みになったのではないかと思います。



美術・工芸部門

理事長 古賀隆光

(宇部商業高等学校教諭)

平成16年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示

ルネッサながとのホワイエにおいて萩・長門地区6校から20点の作品が出品され、総合開会式に華をそえてくれました。各学校が部活動に励んでいる姿を感じられる良い展示でした。

2. 全国高等学校総合文化祭<徳島大会>

作品展示は徳島県立近代美術館で行われました。全国から373点の出品があり、いずれもレベルの高い作品ばかりで見応えのあるものでした。その中にあって、本県から出品された絵画3点、デザイン2点は、全国の中でもしっかりと個性を醸し出していたように思います。全国の作品を見ると、高校生の作品とは思えないような発想と技術を持ったものが数多くありました。社会的傾向からしてデジタル作品が多く見られるのかと思いましたが、デジタルの作品はわずかで、しっかりと描き込んだ油彩などが目を引きました。また立体作品は、様々な素材を巧みに利用し、自由な表現がなされているといった感じでした。中でも心臓のような物体にプロジェクターでDVDの映像を映し音をだしていくという作品は、会場の中でも人目を引くものでした。高校生の作品もこれからはこういったものになっていくのだろうか、いろいろな意味で興味をわかせる作品でした。

さて、諸行事についてですが、交流会は鑑賞交流活動ということで、グループに分かれて展示作品のなかから「アートな逸品」を選ぶ予定でしたが、台風のため中止となりました。講評会についても、造形作家の河崎良行氏と近代美術館学芸員と高校生によるパネルディスカッ

ションが予定されていましたが中止となりました。作品を展示し、お互いの作品を鑑賞することは、それだけで大きな意味があることだと思います。全国の高いレベルの作品の中に自分の作品が展示された時、自分の作品がどう見えてくるのかを体験できる機会はそう多くはありません。そういった意味でこの大会は大きな意義を持っています。しかし、高校生にとって、全国から集まったなかまとの交流はまた違った意味で素晴らしい経験になると思います。台風という抗しきれないものにより諸行事が中止になったことは、返す返すも残念なことでした。

3. 県総合文化祭展示部門

『第26回山口県高総文祭の記録』に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、9月28日(火)に宇部商業高等学校で行いました。20名の参加ということで、やや淋しい感じの協議会となりましたが、出張で出る事の難しさを考えるといたしかたないのかという気もします。年に一度美術・工芸部顧問が、部活動の問題点あるいは県総文のあり方について意見交換をする場です。もっと多くの顧問の参加を期待しています。



書道部門

理事長 有 富 由 美

(防府高等学校教諭)

平成16年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

ルネッサながとでの総合開会式において、萩地区より、萩商業高校、萩光塩学院の2校からの作品を展示しました。高文連書道部生徒研修会の共同作品も花を添え、バラエティに富んだ展示になりました。

2. 第6回高文連書道部生徒研修会

夏休みに入ってもなく、7/25(日)に防府高校を会場に生徒研修会を行いました。内容は午前中は恒例となった特大筆を使っての一字創作、午後からは「高文連の歌・県総文祭スローガン」の共同作品の制作に取り組みました。参加者は県内8校より36名と、昨年より5名増

え、例年通り賑やかに行われました。使い慣れない長鋒を使っての一字創作も、学校の枠を超えて構成された班内でお互いに協力し、励まして作品を作り上げていくことができました。これは本研修会の大きな目的である各校間の交流がなされる貴重な時間となりました。午後からの共同制作でも、お互いを意識しながらの活動の中で、次第に個性あふれる一つの表情をもった表現と化していく過程には感心させられました。

今年も猛暑の中、多くの高校生が共に汗をかきながら作品を作り交流を深めることができました。参加してくれた生徒はきっと校内の部活動だけでは得られない貴重なものを得てくれたことと思います。

3. 全国高等学校総合文化祭<徳島大会>

本年度の全総文祭は、四国徳島県で開催されました。作品展会場である徳島県郷土文化会館には、北海道から沖縄まで各県代表作品が所狭しと展示され、迫力があり創意工夫の凝らされた作品の数々に全国のレベルを目の当たりにさせられました。山口県からは、徳山・防府・山口中央・下関第一の4校が代表として出品しましたが、どれもしっかりと書き込まれ、力強くまた古典に忠実に挑んだ好感のもてる作品であったと思います。県大会からのさらなる成長ぶりに感心すると共に、本人の努力はもとより顧問の先生の力強いご指導にあらためて感謝した次第です。交流会は、台風が上陸するという悪天候の中、現地高校生実行委員不在のまま、「できる範囲で」という条件つきで行われました。台風の影響で様々な情報が飛び交う中、全国から集まって来た高校生でいつの間にか会場は若い熱気に包まれていました。参加した生徒達も全国の仲間との交流を通して意義深い時を過ごしたようです。その感想は、全国高総文祭の記録に掲載しています。



写真部門

理事長 佃 幸憲
(光高等学校教諭)

平成16年度山口県高等学校文化連盟写真部門の活動状況についてご報告致します。

1. 平成16年度 第26回山口県高等学校 総合文化祭総合開会式

(ルネッサながとにて)における慶祝展示

今年度は、6月17日(木)から19日(土)まで、長門市のルネッサながとにて、総合開会式ならびに音楽4部門発表会が開催されました。

写真部門では例年、前年度の県総文(周南大会)にて優秀作品に選ばれ、今年度の全国大会(徳島県で開催)出品候補作品として選ばれたものを、期間中に慶祝展示しております。

今年度は以下の5点の出品となりました。

(すべて全紙・モノクロ・単写真)

西京高校 3年 古谷 峰子 作

「フルート」

下松工業高校 3年 國弘 健太郎 作

「山野草」

宇部工業高校 2年 中尾 将太 作

「ウォーターボーイ」

宇部工業高校 2年 坂本 靖憲 作

「残像」

熊毛北高校 2年 河原 洋美 作

「夫婦」

出展にご協力頂いた顧問の先生ならびに生徒の皆さんに感謝いたします。

2. 平成16年度 第28回全国高等学校 総合文化祭写真部門(徳島大会)

7月30日(金)から8月3日(火)までの5日間、徳島県徳島市にあります徳島市立体育館にて開催されました。

審査は、写真家 田沼武能 審査委員長、二科会会員 吉成正一 審査員、徳島県美術家協会写真部会長 櫛淵 魏 審査員の三氏によるもので、出品総数は302点でした。

昨年と同様に台風接近の中、参加された先生

方・生徒の皆さん、お疲れ様でした。

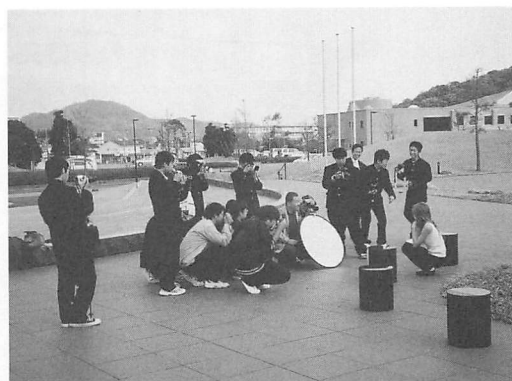
なお、徳島大会への参加生徒からの報告については、全国大会の記録をご覧ください。

平成17年度の本大会は、青森県で開催されます。

3. 平成16年度 山口県高等学校総合文化祭 展示部門(長門大会)

11月12日(金)から14日(日)にかけて、長門市のルネッサながとにて開催されました。萩工業高校主管のもと、無事終了しました。最終日には、例年通り撮影会を催しました。長北地区各高校の、運営委員の先生方ならびに補助員生徒の皆さん、お世話になりました。

大会の詳細については、県総文の報告をご覧ください。



囲碁部門

理事長 藤原 信二

(宇部高等学校講師)

囲碁は平安の昔から上流階級の遊びとして栄え、江戸時代は隆盛を極めた。世間では碁打ち「親の死に目に会えない。」と言うが、これは殿様の御前で打ついわゆるお城碁では一局が完全に終わるまでは対局者はお城を出ることが出来なかったために親兄弟が亡くなくても会いに行けないところから言い伝えられたようです。

今日でも棋聖戦や名人戦など重要なタイトル戦は2日制になっています。現在のタイトル戦は海外や国内のホテル等で行われるののだが対局者も日本棋院の関係者も同じ宿に泊って2日目を迎えるしきたりになっています。

碁は若い頭脳を鍛えるには大変優れたゲームです。19×19路の盤全体どこに打ってもいいわけだから幾何学的思考が大いに活用できます。そのため海外で碁の盛んな国では理数系の大学の先生たちが多く打たれているようです。日本でも医学部を卒業して医師にならずプロ棋士になった人など枚挙にいとまがありません。

文化部の中でも囲碁・将棋はやや遊び的なものと考えられている面があったようですが、中国や韓国では国家的行事にして若い人たちを鍛えているとのこと。碁は入門期のルールや定石を覚えるまでが難しいので部員を集めるのに苦労しますがいちど覚えると一生涯忘れるこ

とはないし、趣味として多くの友人も出て、いつまでも楽しめるものです。ひとりでも多くの皆さんが若いときに囲碁の門を叩かれることを願っています。

平成16年度囲碁部門の活動について

1. 第26回山口県高等学校総合文化祭

総合開会式慶祝展示

6月17日(木)ルネッサながとで開催された県総文祭に、慶祝展示を行いました。

2. 第26回山口県高等学校総合文化祭

囲碁部門第16回大会

10月23日(土)に宇部高校で開催されました。参加校は13校で、58名の参加がありました。この大会は17年度の全国大会と今年度12月の中国大会の代表を選抜する大会なので選手の熱意で会場全体が盛り上りました。特筆すべきことは、出場選手の対局態度や開会式での態度が大変良かったことです。関係の先生方からほめられて会場校の担当者としてもほっとしています。

3. 山口県高等学校文化連盟囲碁部門研修大会

17年2月6日(日)に例年通り「山口南総合センター」に於て、全国大会出場選手を中心に選手の技術向上を計りました。県在住のプロ棋士による指導対局もあり充実した一日を送りました。



演劇部門

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)

<またまた快挙>

第42回中国地区高等学校演劇発表会

今年度の中国地区発表会は岡山県倉敷の芸文館で開催されました。山口県からは宇部西高校と華陵高校の出場でした。その大会にてなんと華陵高校が見事最優秀賞の栄冠をつかみ、来年度夏の青森全国総文祭に出場が決まりました。

ここ数年山口県代表が中国ブロック大会にて好成績をおさめています。県内の高校演劇関係者皆が喜んでます。華陵高校の皆さんおめでとうございます。青森での活躍を心より祈っています。

<2006やまぐち国民文化祭・演劇部門近況>

国民文化祭が山口県にて2006年に開催ということで、県内の演劇界も忙しくなってます。私自身、推進委員に任命されたり、今年度の福岡とびうめ国民文化祭へ出演など、目が回るほどの忙しさを体験しました。これも県の事務局を引き受けているからかなあ…と思い、良い経験をさせてもらっていると感謝しています。(そろそろ、交替ですが…)次は中国地区の事務局が回ってきます。2006年は山口県で中国大会です。引き受け地区には大きなホールがありません。どうしたものかと頭を悩ませつつ、県内の先生方には忙しくなるぞと今から念を押しています。

<講習会・地区大会・県大会>

本年度の演劇講習会は11月28日に開催しました。講師は今年も全国大会の審査員でもあり、桜美林大学助教授で劇作家の平田オリザ先生をお迎えしました。会場は山口の情報芸術センターでした。(先日の台風で屋根が吹き飛んだあのホールですが、設備は最新です。)

講習会の内容は参加生徒約40人がパントマイムやワークショップ等で交流や演劇理論を深めるところから始まり、実際に台本を読みながらの演技指導、後半はグループに分かれて即興劇を創作し、互いに批評しあったりしました。午後には平田オリザ演出の「天の煙」を鑑賞しました。例年になく充実した内容だったと思います。地区大会は周防・山防・宇部・下関の4地

区で8月の下旬に行われました。各地区とも観客の動員や出演校の減少に頭を悩ませていました。生徒・先生方ともにお疲れさまでした。会場費高騰が懸念されていましたが、2006年にやまぐち国民文化祭が開催されるのを受けて、演劇熱が高まり(?)各地区とも会場の確保は比較的スムーズでした。

県大会の大きな動きでは、各地区の出演校の減少に伴い、昨年度県大会が7校上演での開催(例年は8校上演。規定では各地区大会から上演校4校につき1校県大会に出場)となったことを受けて、規約改正をすることでした。しかし、春の段階では出場校が減ることを予測できず、この夏急遽、各地区次点校をビデオ審査し、県大会に推薦するという形を取りました。いろいろ異論はありましたが、県大会の規模を縮小することなく盛り上げていこうという一心でビデオ審査を行いました。(初めての試み)記名による点数方式を採用し、結果は僅差で下関商業高校が出場することになりました。今年度のみの方式で、来年度は県大会の出場枠の拡大や規定を改正することになっています。

県大会は10月30・31日に下関市文化会館で開催されました。会場は古いですが、声の通りも良く、舞台裏の楽屋が机敷室になっている味のある会館でした。大会の方は観客が例年よりは多かったようです。講師は篠崎光正先生(桐朋学園大学短期大学部教授)にお願いしました。先生の的確な演技指導や講評は生徒、顧問共に良い勉強となりました。上演校の各校の演技はどの学校もレベルアップしているようですが、舞台美術の点がまだまだ甘い指摘され、今後舞台美術の講習会や照明の講習会を検討して行くべきだともご助言いただきました。

また、例年通り生徒講評委員を設けました。日頃、あまり発言しないような生徒が一生懸命意見を出したり、批評したりする姿を見て、演劇はやはり「演技する側」だけでなく「見る側」を育てる良い、教育的なソフトだなとも感じました。

放送部門

理事長 大島 信子

(岩国総合高等学校教諭)

平成16年度放送部門の活動状況を報告します。

1. 県高校総文祭総合開会式

大津高等学校主管のもと、6月17日ルネッサながとにて、県高校総文祭総合開会式が行われました。浄瑠璃や能も上演できるという独特な雰囲気漂わせる舞台で進行アナウンスを担当したのは大津高校の皆さん。放送部のない大津高校では急遽、この日のために進行・アナウンス係を募ったところ、多数の希望者があり、オーディションでこの係をきめたそうです。意欲にあふれる皆さんのおかげで、限られた時間のリハーサルで、本番を見事にこなすことができました。ぎりぎりまで名前の読み方やアクセントを確認し、真剣に取り組んでいる姿がとてすがすがしかったです。

翌日の音楽部門発表会では大津高校と萩高等学校放送部が分担して進行を行いました。今回初の試みで、演奏の合い間のインタビュー用の原稿を各校からメールで送ってもらったと聞きました。こうして、少しでも効率化が進めばと思います。

2. 全国総文祭・徳島大会

8月2・3日の2日間、徳島県阿南市で開催されました。今年も台風に見舞われた全国総文祭でした。大雨で濡れたまま発表せざるを得なかった参加者、せっかくの晴れ舞台なのに十分に力が発揮できなくて、残念でした。

今年の大会のテーマは「地域の作家、話題を全国の仲間に伝える」でした。山口の人ならだれでも知っているようなこと、山口の人でないと知らない話題を、新鮮な切り口で全国に情報発信できたらという思いで作品が作られました。

岩国総合高等学校の「幸福の言葉 岩国を愛した千代さんからのメッセージ」がビデオメッセージ部門で優秀賞を受賞しました。宇野千代さんの暖かいことばと四季折々の錦帯橋の美しい映像が会場の皆さんの心に届いたことでしょう。

3. 県放送部研修会

最近、全国大会で入賞に手の届かない朗読・アナウンス部門。「無声化」の説明を受けても「何それ？」とピンとこない山口ッ子は元々ハンデイがありますが、それでも基本はしっかり学ぶ必要があると常々感じていました。そこで8月9日、東京より、前放送部門理事長の青木幸子先生を講師に招き、研修会を開きました。11年前に放送部会を立ち上げ、それ以来毎年のように輝かしい賞に部員を導いてこられた先生ならではのメニューで一日を過ごしました。先生のお話を聞くだけでなく他校の生徒、顧問と一緒に実習し、緊張感のある充実した研修となりました。

4. 県高校総文祭放送部大会

11月7日ニューメディアプラザ山口で第11回放送部大会が開かれました。はりつめた空気の中、ひとことひとことに全身全霊をこめて発表を行い、技を競いました。



将棋部門

理事長 岡 茂 樹

(防府高等学校教諭)

将棋部門が山口県高等学校文化連盟に加盟して9年目になりました。事務局も宇部高校から防府高校が引き継ぎ、将棋部門にも新しい風が入ってきました。本年度も例年通り、3つの事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式の慶祝展示

宇部高校および下関中央工業高校が担当で、6月17日(木)～19日(土)にかけてルネッサながとを会場に開催された総合開会式で、将棋部門大会の様子を写したパネル写真を展示しました。頭脳のスポーツと言われる将棋の対局風景に、脳に汗をかいて戦っている高校生の様子を感じていただけたでしょうか。

2. 第26回山口県高等学校総合文化祭

将棋部門大会 兼

第40回全国高等学校将棋選手権大会県予選

防府高校の担当で、5月29日(土)30日(日)の2日間、防府市文化福祉会館で開催されました。16チーム56名の参加で、初日は団体戦。2日目は16校64名の参加で、男女の個人戦が繰りひろげられました。団体戦は選手層の厚い宇部高校が7連覇の偉業を達成し、山口県の高校将棋界に一時代を築いています。また、各校の1年生に強豪が多く、個人戦のレベルは例年以上に高く、大熱戦になりました。昨年から、団体戦と個人戦の両方に参加できるようになり2日間で百名を越える参加者の大会となりました。また、日本将棋連盟の山口支部の先生方の熱心な御指導も受けることができ、大盛況の2日間でした。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

防府高校の担当で、11月7日(日)に防府市文化福祉会館で開催しました。先生方は大会運営の研修と情報交換。生徒は、対局を中心とした棋力向上を図る内容でした。1・2年生を中心に14校、45名の参加がありました。今村計二アマ四段(小郡町在住)の御協力を得て指導対局、大盤解説をしていただきました。

研修対局の結果

- 男子 1位 古江秀匡(下関西高校1年)
2位 河野 健(宇部高校2年)
3位 藤里尚樹(岩国高校2年)
3位 梅山大樹(下松高校2年)
5位 中村俊一郎(新南陽高校1年)
5位 松本幸士(防府西高校1年)
- 女子 1位 高橋美妃(宇部高校2年)
2位 横田仁美(防府高校1年)
3位 長本尚子(宇部高校1年)

なお、年末に松江市で行われた中国大会では、藤里君が第四位、高橋さんが第二位、長本さんが第三位にそれぞれ入賞しました。



文芸部門

理事長 萩原直子
(萩高等学校教諭)

平成16年度文芸部門の活動状況をご報告いたします。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、昨年度行われた第1回文芸部門コンクール入賞者の作品5点と、各学校の文芸誌を展示しました。以下に出品者および作品名を記しておきます。

宇部高校 中木村朋美さん「キンボウゲ」
防府高校 中嶋可奈子さん「迷走不健康記」
山口高校 静屋沙代子さん「透」
西京高校 田中 裕子さん「月と太陽」
萩高校 藤田 梢さん「自慢の息子」

2. 全国高校総合文化祭く徳島大会>

7月30日(金)～8月3日(火)の5日間、徳島県教育会館において全国総文祭文芸部門大会が開催されました。台風10号の来襲という悪天候の中、山口県からは宇部高校3名、下松高校2名が4日目の交流会から参加しました。

ここで行われた行事の全てが、全国から集まった生徒相互の交流を意図した工夫の凝らされたものでした。個々で創作活動に励むことの多い生徒たちにとって、作品に寄せる文芸仲間の熱い思いに触れる機会を得たことは、大変良い経験になったのではないかと思います。

最終日、帰路につく私たちが見えなくなるまで見送り続けて下さった徳島のスタッフの方々

に深い感銘を覚え、2泊3日の旅程を終えました。

3. 文芸部研修会

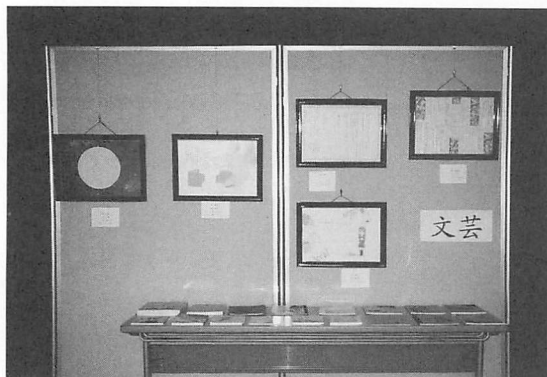
8月9日(月)山口県立図書館研修室で、文芸部門としては初めての研修会を開催しました。予想を上回る参加人数に、会場も満杯になるほどでした。宇部高校と下松高校に全国総文の復伝講習をして頂いた後、10月に開催される文芸大会に向けて生徒の役割分担を決めました。後半、顧問が大会の打ち合わせや諸連絡を行っている間、生徒たちは文芸部門前理事長の西村佳子先生から効果的な分科会の運営についてのご講話をいただきました。時宜を得た内容は、大会当日のイメージ作りに大いに役立ったのではないかと思います。

4. 文芸部門大会

『第26回山口県高総文祭の記録』に詳細を載せています。そちらをご覧ください。

5. 高校生文芸道場中国大会広島大会

11月12日(金)広島市アステールプラザで第6回文芸道場が開催され、徳山高校から3名が参加しました。ここで、徳山高校の三吉千恵さんが小説部門で優秀賞を受賞され、また防府高校の黒田萌実さんと同、重枝佐依さんが詩部門で入賞を果たされました。



第26回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：ルネッサながと

主管校 宮崎 範昌

(大津高等学校教諭)



第26回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は『創り出そう自分色広げよう感動の輪』をテーマとして、平成16年6月17日（木）13時からルネッサながとを会場として、盛大に開催されました。例年どおり、翌18日（金）からの2日間にわたって開催された音楽4部門発表会との同時開催であり、3日間で3,000名余りの出演生徒が県下各高等学校から参加しました。長北地区での開催ということで、主管校である大津高等学校だけでなく、長北地区各高等学校の御協力を得て前年度から周到に計画、準備を行い、万全を期して臨んだ大会でした。

総合開会式は、藤井俊彦山口県教育委員会教育長、松林正俊長門市長をはじめ、多くの来賓の御臨席のもと、華やかな中にも厳粛に行われました。

式典は、大津高等学校生徒会副会長・長尾智裕さんによるはつらつとした開会宣言とともに、

長北地区高等学校合同吹奏楽団の演奏する華やかなファンファーレで開幕しました。続いて「高文連の歌」の演奏にのって高文連14専門部のプラカードが入場し、ステージ上の式典態勢が整いました。

山口県教育委員会教育長、山口県高等学校文化連盟会長の、歴史と伝統のある優れた文化を継承しつつ、進取の精神をもって内外の新たな文化の受容に努め、個性と魅力にあふれる21世紀の文化をデザインするクリエイターとして成長されることを期待するとの挨拶に続いて、主管校生徒会長・秋本千恵さんが「今回のテーマは『創り出そう自分色 広げよう感動の輪』です。『自分色』というのは一人一人が持っている自分らしさのことです。その『自分らしさ』を全面に出すことにより、個性ある人間として生きてゆきたい。」と挨拶しました。長門市長の歓迎のことばの後、山口県高文連表彰へと移

りました「功績賞」は山賀正彦（高文連前会長）、椎木浩二（吹奏楽専門部）、友永次郎（吹奏楽専門部）、弘中敏之（将棋専門部）の4人の先生方でした。山賀正彦先生は高文連会長としての永年の御尽力を讃え表彰されたものです。又椎木浩二先生、友永次郎先生、弘中敏之先生は各専門部理事長としての御尽力を讃え表彰されたものです。

「優秀指導者賞」は中井勝先生（吹奏楽専門部）に授与されました。先生は、吹奏楽コンクール全国大会において金賞を受賞するなど、本県高等学校文化活動の発展に寄与されました。

「優秀芸術文化賞」は平成15年度（第42回）全国学校合奏コンクール全国大会高等学校部門で最優秀賞を受賞した山口県立下関南高等学校管弦楽部、第27回全国高等学校総合文化祭（福井大会）放送部門オーディオピクチャー部門で優秀賞を受賞した山口県立山口農業高等学校放送部、放送部門ビデオメッセージ部門で優秀賞を受賞した山口県立宇部高等学校放送部にそれぞれ授与されました。表彰の最後に、今年度の山口県高等学校総合文化祭のテーマに選ばれた県立大津高等学校3年生秋本千恵さんに「テーマ最優秀賞」が授与されました。式典の最後に山口県高文連各専門部の紹介を行い、休憩の後、慶祝演奏に移りました。

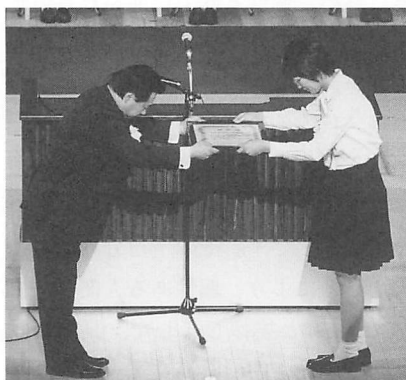
慶祝演奏は山口県鴻城高等学校マーチングバンド部と誠英高等学校・慶進高等学校各バントワリング部の合同による華麗なステージで開幕しました。続いて、大嶺高等学校による「わらべ唄」の演奏、長北地区高等学校合同吹奏楽

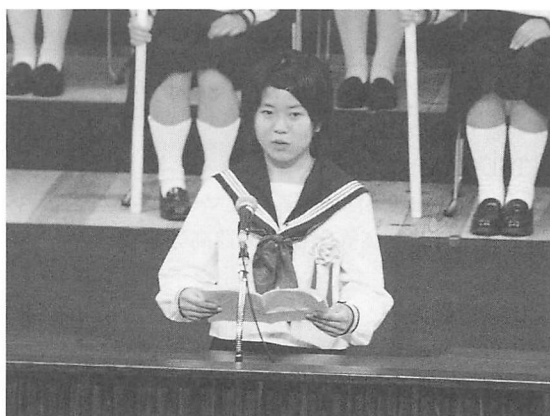
団による演奏、山口県高等学校合唱団と山口県高等学校管弦楽団による演奏が行われ、圧倒的な迫力と感動が会場を包み込みました。最後に会場全体で「翼をください」を合唱し、2時間におよぶ総合開会式は幕を閉じました。なお、すべての進行、アナウンスは高文連放送部会の御協力により大津高等学校放送部が担当しました。

総合開会式と並行して行われた慶祝展示はルネッサながとエントランスロビーにおいて、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸の7専門部で行われました。展示場所を式典と同会場の1階エントランスロビーに設定したので、例年以上の多くの観覧者が来場し、大変好評でした。

今回、総合開会式を大津高等学校が主管校として開催しましたが、翌日からの音楽4部門発表会は長北地区4部門関係の先生方を中心に、放送専門部の御協力も得て盛大かつスムーズに進行することができました。また、慶祝展示は音楽4部門の発表会の期間中も引き続き行われ、長北地区の美術関係の先生方には大変お世話になりました。その他、会場外駐車場や車両誘導等長北地区全体の協力態勢、校内の絶大な協力のおかげで重責を果たすことができたのではないかと思います。

最後にこの大会を開催するにあたり、地元長門市をはじめ、関係諸機関、多くの先生方の御支援を賜り、無事終了することができましたことを衷心よりお礼申し上げます。





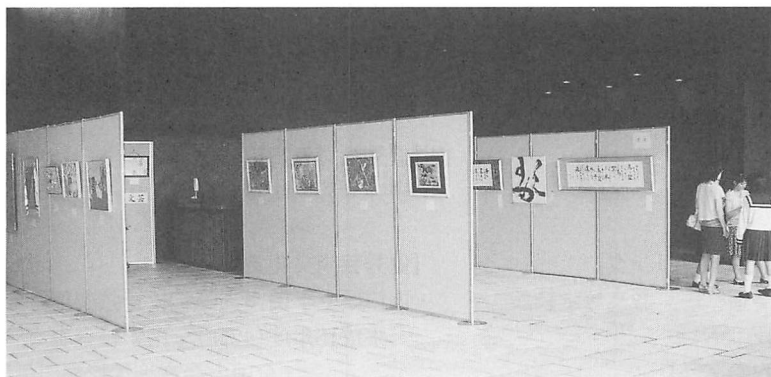
▲あいさつ▼



▶岡嶋晶子さん(大津高校)
のイラストを基にしたポスター



▼慶祝展示



▼受付風景



◇慶祝演奏

＜マーチングバンド・バトントワリング＞

『いとしのエリー』

『TSUNAMI』

【出演】山口県鴻城高等学校マーチングバンド
誠英高等学校・慶進高等学校
各バトントワリング部

＜日本音楽＞

『わらべ歌』

【演奏】山口県立大嶺高等学校

＜吹奏楽＞

『式典のための行進曲「栄光をたたえて」』

『Esperanza』

【演奏】長北地区高等学校合同吹奏楽団
(指揮) 下 濃 正 浩

＜合唱、器楽、管弦楽＞

『オラトリオ《メサイア》』より

『ハレルヤ・コーラス』

『カンタータ《土の歌》』より

『大地讃頌』

【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 山 本 明 子

＜全員合唱＞

『翼をください』

【演奏】山口県高等学校合唱団
山口県高等学校管弦楽団
(指揮) 山 本 明 子

＜放送＞幕間出演及び進行アナウンス

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇慶祝演奏出演校

【マーチングバンド・バトントワリング】

山口県鴻城 誠英 慶進 … 各高等学校

【日本音楽】大嶺高等学校

【長北地区高等学校合同吹奏楽団】

萩 萩商業 奈古 美祢 大津 日置農業
…………… 各高等学校

【山口県高等学校合唱団】

野田学園 山口中央 中村女子 サビエル
岩国 防府 萩 宇部中央 萩光塩学院
…………… 各高等学校

【山口県高等学校管弦楽団】

下関南 山口中央 防府 柳井
…………… 各高等学校

◇慶祝展示

＜美術・工芸＞萩 萩商業 萩工業 萩養護
萩光塩学院 大津

…………… 各高等学校及び高等部

＜書道＞萩商業 萩光塩学院

…………… 各高等学校 他

＜写真＞熊毛北 下松工業 西京 宇部工業

…………… 各高等学校

＜囲碁＞宇部高等学校

＜将棋＞宇部 下関中央工業 … 各高等学校

＜演劇＞西京 華陵 …… 各高等学校

＜文芸＞宇部 下松 防府 山口

…………… 各高等学校 他

◇進行アナウンス

大津高等学校放送部

山口県高等学校文化連盟放送部会

◇山口県高等学校文化連盟 表彰者

【功績賞】

- ・山賀正彦
平成14年度～平成15年度山口県高文連会長
- ・椎木浩二（吹奏楽専門部）
- ・友永次郎（吹奏楽専門部）
- ・弘中敏之（将棋専門部）
平成8年度～平成15年度
山口県高文連将棋専門部理事長

【優秀指導者賞】

中井 勝（吹奏楽専門部）

【優秀芸術文化賞】

- ・山口県立下関南高等学校管弦楽部
[平成15年度(42回)全国学校合奏コンクール
全国大会高等学校部門最優秀賞]
- ・山口県立山口農業高等学校放送部
[第27回全国高等学校総合文化祭(福井大会)
放送部門オーディオピクチャー部門優秀賞]
- ・山口県立宇部高等学校放送部
[第27回全国高等学校総合文化祭(福井大会)
放送部門ビデオメッセージ部門優秀賞]

【テーマ最優秀賞】

- ・山口県立大津高等学校 秋本千恵

音楽関係 4 部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：ルネッサながと

理事長 飯田 幸生

(下関南高等学校教諭)

平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月18日(金)、19日(土)の2日間にわたりルネッサながとにおいて開催されました。また、前日17日の総開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、県下5校の管弦楽部の代表たちが集い、100名を越える大編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コーラス”そして佐藤眞作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、大津高等学校の山本先生の躍動感溢れる美しい指揮のもとで、開幕式典にふさわしく荘重

で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の下松大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：ルネッサながと

理事長 有 富 美 子
(萩高等学校教諭)

平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月17日(木)「ルネッサながと」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱(岩国、山口中央、野田、中村女子、宇部中央、サビエル、萩、萩光塩の9校・計203名)は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。会場が音楽専門施設でない為、音響面で心配していましたが、大人数のおかげかマイクを入れずに演奏することができました。日頃小人数で演奏活動をしている生徒達はもちろんのこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験でした。

また、音楽部門4部門の発表は、6月18日(金)、19日(土)の2日間にわたり、高校生

の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、9校(岩国、宇部中央、防府、防府西、野田、山口中央、萩光塩、萩、長府)出演者は259名でした。各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

問題点として、年々合唱部が廃部になり、参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきましょう。

来年度は、“スターピアくだまつ”で開催されます。また次回も素晴らしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：ルネッサながと

理事長 藤本博途

(岩国商業高等学校教諭)

平成16年度第26回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月17日（木）ルネッサながとで開催されました。吹奏楽部門として例年どおり開幕式典に長北地区高等学校合同吹奏楽団（萩 萩商業 奈古 美祢 大津 日置農業 各高等学校）を編成し、長門高校の山本和徳先生の指揮で、ファンファーレ、高文連の歌で華やかに開幕しました。慶祝演奏では美祢高校の下濃正浩先生の指揮で式典のための行進曲「栄光をたたえて」、Esperanza の2曲を力強く演奏しました。

音楽4部門発表会は翌18日（金）と19日（土）の2日間にわたって開催されました。吹奏楽部

門には53校1,780名の生徒が参加し、素晴らしい演奏を披露してくれました。少子化が続き部員が少なくなっている学校もありますが、演奏力は衰えておらず、各校とも素晴らしい演奏でした。一日目の最後は防府西高校（藤元徹先生指揮）の伴奏で、二日目の最後は岩国高校（上田憲明先生指揮）の伴奏で、「翼をください」を全員合唱し、感動の中で閉幕しました。主管校の大津高校を始めとして、長北地区の生徒補助員の動きや態度が例年以上に大変素晴らしく、高校生らしかったことが特筆されます。来年度はスターピアくだまつで開催されます。また素晴らしい演奏が聴けることを期待しています。



マーチングバンド・バントワリング部門

会場：ルネッサながと

理事長 熊野文政

(佐波高等学校教諭)

第26回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月17日（木）に、続く6月18日（金）・19日（土）には音楽4部門発表会が、いずれもルネッサながとを会場に盛大に開催されました。

総合開会式における慶祝演奏では、山口県鴻城高校吹奏楽部のマーチングと、誠英・慶進両高校のバントワリング部が合同での演奏・演技を披露しました。「いとしのエリー」と「TSUNAMI」という、サザン・オールスターズのメドレーにのせて、バントワリング部のはつらつとした笑顔いっぱいのダンスが披露され、会場から大きな拍手や手拍子を受けていました。慶祝演奏のオープニングにふさわしく、観客席の通路も使った演奏・演技は、華麗で大変迫力あるものでした。

音楽4部門発表会では、マーチング1校、バントワリング2校の計90名が参加しました。

マーチングでの唯一の参加となった山口県鴻城高校は、「スターウォーズエピック」で演奏・演技とも非常に高い技術を見せてくれました。その技術に裏付けされたパフォーマンスに、会場からは感嘆の声が上がっていました。バントワリングでは、慶進高校が「DANCE TO THE MAX」、誠英高校が「PASSION」をテーマに日頃の練習の成果を発表しました。調和のとれた一体感のある演技に、観客から惜しみない拍手が送られていました。今回はマーチングが1校のみの参加でしたが、次回から本部門への参加校が増えるよう期待しています。

ルネッサながとは大変ステージが広く、また併設のアリーナでウォーミングアップができ、大変よかったと思います。主管校の天津高校をはじめ、長北地区の先生方・生徒のみなさんによるスムーズな運営に心から感謝いたします。



日本音楽・吟詠部門

会場：萩市民館

主管校 **大庭真理子**
(萩高等学校教諭)

第26回山口県高等学校総合文化祭 日本音楽部門は、萩市民館を会場として6月12日（土）に開催されました。台風の襲来も心配されましたが、萩高校が主管校として出場15校を迎え、無事に終了することができました。本大会の開催にあたり、ご指導、ご協力頂きました山口県高等学校文化連盟はじめ、諸先生方には、紙面を借りまして心より御礼申し上げます。

今年度の大会は箏曲の演奏を中心に、早稲高校と県立聾学校による太鼓の演奏や、各学校からの代表者による合同演奏を加え、20曲が発表されました。演奏を舞台裏で間近に拝聴しましたが、どの演奏もすばらしく、舞台袖での緊張した面持ちなどからも生徒の日頃の熱心な練習の様子が思われ、心が揺さぶられました。また個人的な感想になりますが、クラシックの名曲をアレンジ

した「四季」の演奏や、異色の組み合わせとも思われたフルートと琴の美しいハーモニー、合同演奏での合唱との共演には、新たな琴の魅力を発見できたと思

います。そして殊に印象深く記憶に残っているのは県立聾学校の演奏と部活動紹介です。感覚を研ぎ澄ました息のあった演奏には観客の皆様も胸を熱くされたことと思います。

近年、日本文化が若い世代によって再認識され、太鼓や三味線などの日本の伝統的な楽器を用いながらも現代的にアレンジされた音楽を耳にする機会も増えてきました。本県では各学校とも部員数確保に苦慮されている現状がある一方で、全国総合文化祭では日本音楽に青春をかける高校生が数多くいることを感じました。本大会は日本音楽に心を寄せる高校生にとって他校の技術や趣向を学び、感性を磨く絶好の機会であると思います。本大会と各部の更なる発展を祈願するとともに、来年度の下関大会でまたすばらしい演奏を聴けることを期待しています。



展示 3 部門

会場：ルネッサながと

美術・工芸、書道、写真部門

主管校 浜崎 弘 樹

(萩工業高等学校教諭)

平成16年度第26回県高等学校総合文化祭展示部門（美術・工芸、書道、写真）は、平成16年、11月12日（金）～14日（日）の3日間、長門市のルネッサながとを会場に開催されました。山口県立萩工業高校を主管に、長北地区8校の協力を得て運営委員会が組織され準備が進められてきました。

展示部門は、例年「芸術の秋」の10月～11月に開催されてきましたが、今年も例年通り11月の開催となりました。3日間天候に恵まれ、つつがなく展示会を終えることができました。総出品数が274点、出品校数が69校と例年並みであるが、少し少なめの出展となりました。

ルネッサながとのギャラリーと軽運動室の2ヶ所を会場とし、オープニングセレモニーを省略せざるを得なかったため、表彰式に来賓を招き、お披露目という形を取りました。書道の会場にしたギャラリーの方は最初から立派な展示の設備が整っていたが、このギャラリーにて表彰式を行ないました。表彰式の後、部門別に講習会が開催されました。

全国総合文化祭出品候補作品は、美術・工芸部門5点、書道部門4点、写真部門5点の計9点が決定し、来年8月に開催される全国大会に出品されることが決定しています。全国の会場で、山口県の高校生の力を見せつけてくれるものと期待されます。

講習会では各部門の先生方をはじめ、写真部門ではその方面の権威ある方をお招きし、出品作品に講習を頂きました。新しい試みを若者らしく街いもなく取り入れている作品も多く、今後ますます新しい力に満ちた作品が増えること

が期待されます。個々の作品にそれぞれ講習をいただく場面では、真摯な姿勢で聴き入る生徒の姿が、大変印象的に映りました。

美術・工芸部門では参加した生徒には全て講習するようにしましたが、なるべく簡潔な講習になるように努めたにもかかわらず、1時間半もかかりました。それだけ多くの出品者が講習を聴きに来てくれたのではないのでしょうか。また、写真部門では講習だけでなく、例年のように午前中撮影会も催され、参加した生徒は熱心に撮影に興じていたようです。

交通の不便な地での開催にもかかわらず、最終日の来場者は334名を数え、多くの生徒が参加し、盛り上げてくれたのを嬉しく思います。

また、協力校の生徒の皆さんには、熱心に搬入、展示、受付、撤収の仕事を手伝って頂きました。この生徒たちの真摯な情熱も、来場した生徒に伝わったのではないのでしょうか。多くの方々、生徒の協力なしに大会が成功し得なかったことを感じつつ、会の幕が降りるのを見届けることができました。



美術・工芸部門

総出品点数134点中、絵画72点、デザイン56点、彫刻・工芸6点という構成であった。点数の違いはあれ、それぞれの分野でレベルの高い作品が多く見られたことは、うれしいかぎりである。出品者にとってもこういった場で自分の作品を見る事は大きな意味があると思う。会場のルネッサながとは、新しくとても良い会場で多くの観覧者があった。展示場所は軽運動場を使用し、パネルを立てることで展示スペースを確保することができた。さて、全国大会の事を考えると、平成18年の京都大会より出品規定が変更となる。現在の絵画、デザイン・彫刻、工芸という枠組みから平面と立体という枠組みになる。本県の実情を見ると平面においては、質においても量においても充実したものを感じるが、立体においては、質の高い作品もあるのだが、何といっても量が少ない。立体への取り組みを真剣に考えていかなければとつくづく感じる場所である。

(理事長：古賀)

書道部門

書道部門には県内25校より76点が出品され、ルネッサながとの落ち着いた展示室は、高校生の若いエネルギーで一層華やいていました。

また、76点の中から厳正な審査により、来年の全総文青森大会への出品候補作品4点を含む優秀賞8点が選ばれました。全国大会候補作品の4点という数は、この県大会の出品枚数によって算出されます。今年の25校が4点のぎりぎりのラインという状況です。当初、校数が届いていなかったために、一部の先生には大変な御無理をいって出品していただきました。お陰で今年は何とか目標に到達することができましたこと、心よりお礼申し上げます。

生徒数の減少や、それに伴う担当教員の減少により、書道部の活動も年々厳しい状況に追い込まれています。そんな中、額装した立派な作品を出品することの大変さを思う時、あらため

て各校の顧問の先生の御協力に深く感謝すると共に、何とかこれからも、本文化祭の発展の為にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

(理事長・有富)

写真部門

今年度の展示部門（写真）は、平成16年11月12日（金）から14日（日）までの3日間行われました。前日の11日（木）に66点の展示作品のうちから、優秀作品7点を選出する審査を行いました。

今年度の審査委員長には、日本報道写真連盟 宇部支部 支部長 前田 隆義氏にお願いしました。優秀賞7点の選出の後、さらにその中から全国高等学校総合文化祭 青森大会の出展候補作品5点（1、2年生の作品から）を選抜しました。

詳細は、本冊子の優秀作品一覧をご覧ください。

主管校主担当の萩工業高等学校 浜崎 弘樹先生をはじめ、会場の設営立案・現場指示などにご協力頂いた運営委員の各先生方、ならびに生徒の皆さんに感謝と御礼を申し上げます。

最終日の14日（日）の午前中には、ルネッサながと周辺にて、毎年恒例の写真部会主催 撮影研修会を、審査委員長・撮影補助スタッフ・引率教員・生徒 計35名で実施しました。天候も暖かくやや曇り空の、撮影に適した状況で、顧問の先生方と部員たちが、写真撮影を通して、普段では味わえないふれあいが持てる有意義な催しとなりました。今年度は、会場の内外を利用し、ポートレートを中心とした撮影会でした。

各高校においても、生徒会費などから県総文展示部門大会の観覧旅費、または撮影研修会への参加旅費の捻出などが可能となれば、この取り組みもさらに活性化してくると思います。

各顧問の先生方のほうからも部会の活性化に向けて、校内での働きかけにご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(理事長：佃)

第26回 県総文祭展示部門出品校一覧表

(プログラム掲載分)

	学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真		学 校 名	美術・工芸	書 道	写 真
1	岩 国	5	4		29	美 祢	5		
2	岩 国 総 合	3	4		30	豊 浦	5		
3	岩 国 工 業	5			31	長 府	3		
4	岩 国 商 業				32	下 関 西		4	10
5	高 森				33	下 関 南	5	4	
6	柳 井	4			34	下 関 第 一	5	4	
7	柳 井 工 業	1			35	下関中央工業	3		
8	光		1	6	36	豊 北		1	
9	光 丘	3			37	大 津	5		
10	熊 毛 北	2	4	8	38	萩	1		
11	下 松 工 業			6	39	萩 商 業	5	4	
12	華 陵		1		40	萩 工 業	4		
13	徳 山	5	4		41	奈古須佐分校	5		
14	新 南 陽	4			42	下 関 商 業	5	3	
15	南 陽 工 業	2			43	鞆	3		
16	防 府	4	4		44	山 口 養 護	2		
17	防 府 西		1		45	防 府 養 護		2	
18	山 口	4	4	8	46	高 水	2	4	1
19	山 口 中 央	5	4		47	多々良学園		1	
20	西 京	5		10	48	中 村 女 子		3	
21	宇 部	5			49	野 田 学 園		3	
22	宇 部 中 央	2	3		50	慶 進	5		
23	宇 部 西	5	3		51	萩光塩学院	5	4	
24	宇 部 商 業	5							
25	宇 部 工 業			10		全県共同作品		1	
26	厚 狭		1						
27	小 野 田			3					
28	小野田工業			4		合 計	137	76	66

第26回 県高総文祭展示部門・優秀作品一覧（全総文候補作品）

美術・工芸部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
岩 国 高 等 学 校	2	善岡美奈水	憧れ	○
岩国総合高等学校	2	坂本美沙紀	思い出の港	○
山 口 高 等 学 校	2	岡 田 千 秋	僕ラノ可能性	○
宇部商業高等学校	2	松 村 実 紀	自己と他界	○
下関商業高等学校	2	野 村 貴 之	Why	○
岩 国 高 等 学 校	1	桂 典 子	blue	
柳 井 高 等 学 校	2	浜 田 香 織	無題	
柳井工業高等学校	1	青 木 誠	打込象嵌花瓶 桜花	
	1	秋 本 恵		
新南陽高等学校	1	松原美和子	五月雨明	
防 府 高 等 学 校	2	菊 本 有 花	さくら道	
宇部商業高等学校	2	笹 本 栄 美	動きゆく時	
豊 浦 高 等 学 校	1	河 村 理 芳	風景	
徳 山 高 等 学 校	2	三津井陽子	しっぱ	

書道部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
防 府 高 等 学 校	2	中村冴紀子	臨 伊都内親王願文	○
宇部中央高等学校	2	茨 木 恵 理	臨 赤壁賦	○
下関西高等学校	2	迫野加奈枝	臨 泰山刻石	○
下関第一高等学校	2	安 野 豊	臨 魏靈藏造像記	○
岩 国 高 等 学 校	2	田 中 裕 子	臨 蘭亭序	
下関第一高等学校	2	藤 永 学	臨 金文	
下関商業高等学校	2	青 木 智 美	臨 九成宮醴泉銘	
高 水 高 等 学 校	3	畑 葉 月	臨 張遷碑	

写真部門

高等学校名	学年	氏 名	作 品 名	全総文候補作品
下松工業高等学校	2	山 根 佳 孝	波紋	○
山 口 高 等 学 校	1	作 間 寛 子	visibility	○
宇部工業高等学校	2	中 尾 将 太	仲間	○
宇部工業高等学校	1	倉 本 祐 貴	ぼくらの砦	○
高 水 高 等 学 校	1	河 郷 裕	はちきれん青春	○
山 口 高 等 学 校	1	富 岡 涼	セピア	
西 京 高 等 学 校	3	古 谷 峰子	力水！	

※第29回全国高総文祭（青森大会）候補作品は、上記の美術・工芸5点、書道4点、写真5点

囲碁部門

会場：宇部高等学校

理事長 藤原 信二
(宇部高等学校講師)

第26回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第16回大会兼第29回全国高等学校文化連盟囲碁部門第18回大会県予選会は10月23日（土）、山口県立宇部高等学校で開催されました。

参加校は昨年と同じ13校でした。参加者数がやや減少して58名となったのは淋しい気がします。「ヒカルの碁」以来小中学生で碁を打つ人が急激に増えました。地方ごとに行なわれる市民大会なども子供の部などを設けて大いに盛りあげていただいているのですが、高等学校での囲碁人口も囲碁部や同好会の新設もあまり進んでいないのが現状です。

大会成績は次の通りです。

<団体戦>

男子 優勝 徳山工業高等学校

準優勝 防府高等学校

女子 優勝 防府商業高等学校

男・女とも優勝校は12月25～26日に鳥取県倉吉市で行われる中国大会に県代表として出場します。なお中国大会個人戦には男子6名、女子2名が出場予定です。

この大会は17年度全国総文祭の代表も選出することになっています。17年度の全国大会は平成17年7月30日（土）・31日（日）に青森県で開催されます。本大会には男・女個人戦1名ずつと団体戦は男子2名女子1名で編成する県団体チームが出場します。昨年の徳島大会では女子個人で宇部高校の藤井三段が全国第5位に入賞し表彰されましたが、団体戦は45チーム中30位の成績でした。各県とも団体戦はかなり力を入れているので山口県チームもさらなる健闘を期待します。本県でも全国大会に向けてチームの和を作りさらに強化するために来る2月6日に研修大会を準備しているところです。

代表選手の皆さんの今後の精進を祈り、成績を発表します。

<個人戦代表決定戦>

男子 優勝 伊藤大地 徳山工業高等学校

女子 優勝 横田仁美 防府高等学校

<団体県チーム代表決定戦>

男子 優勝 山本裕徳 防府高等学校

優勝 西村泰利 徳山高等学校

女子 優勝 河野舞子 防府商業高等学校

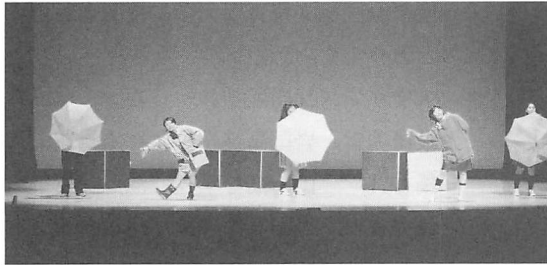


演劇部門

会場：下関市文化会館

理事長 村岡圭吾

(山口県鴻城高等学校教諭)



10月30日(土)・31日(日)に下関市文化会館で県総合文化祭演劇部門・県大会が開催されました。会場は古いですが、照明スタッフや地区の先生方の協力もあり、不自由なく大会を運営できたと思います。舞台裏には機材室の楽屋もあり、舞台小屋というイメージが強かったです。例年通りのコンクール形式で行われ中国大会への出場を争う熱気に包まれた舞台が開催されました。声の通りも良かったようです。また、下関市の繁華街に近いということもあり、観客数は例年よりは多かったみたいです。

舞台は昨年の7校上演を受けて、今年度あらたに各地区より次点校をビデオ審査するという形で下関商業を推薦し、8校での開催となりました。ビデオ審査は反対意見が多く、来年への課題を残しました。(選ばれた下関商業の舞台はビデオよりも数段まとまった良い舞台でした。やはり、選ばれた後の練習が実ったのだと思います)

審査員の講評では舞台作りの上での大道具、特に美術の点で多くの指摘をされました。また、高校生の目線にあわせた丁寧な演技理論や指導はいつもながら感心しました。ありがとうございました。最優秀賞は宇部西高校と華陵高校に決まりました。

今大会でも専門部の生徒活動を発展させるため生徒講評委員会をもうけ、生徒の演劇を見る力を養成できたように思います。この試みは数年続いていますが、今後も予算の許す限り、継

続したいと思います。

大会運営には下関地区の生徒を中心に多くの高校生や顧問がたずさわってくれました。準備等いろいろと大変だったと思います。

2006年には山口で国民文化祭が開催されます。高校生も何らかの形でこの国民的イベントに参加していくと思います。今大会の運営等で培った多くの生徒の力やスタッフ、すべての関係者の協力を結集して国民文化祭でも高校生の持つ力を発揮できればと思います。これからも演劇を勝ち負けで判断することなくいろんな人に触れてもらいたいと思います。

第26回山口県高等学校総合文化祭演劇部門 第23回山口県高等学校演劇大会 出場校・上演作品一覧

学 校 名	作 品 名	作 者 名
下 関 商 業	ダイエッター	古城十忍
宇 部 西	ユメ カタリ	楽 静
山口県鴻城	TWO	成井 豊
岩 国 総 合	おっさん	聖 香
田 部	GIVE ME FIVE	北野 茨
下 関 第 一	ぼっくりさん	亀尾佳宏
華 陵	報道センター123	迦陵頻伽
下 関 南	夏芙蓉	越智 優

<講師・審査員>

篠崎光正 (桐朋学園大学短期大学教授)

山口武信 (劇作家)

中城龍彦 (宇部高等学校)

放送部門

会場：ニューメディアプラザ山口

理事長 大島 信子

(岩国総合高等学校教諭)

11月7日、岩国総合高等学校主管のもと、ニューメディアプラザ山口で第11回放送部大会が開かれました。「放送部員が減って」という声があちこちから聞こえてくるのですが、参加人数、参加作品は例年どおりでした。ということは、1年生の出場が可能ということで、1年生も新人ながら健闘しました。

今年の大会のテーマは「郷土」です。昨年とほぼ同じなので取り組みやすいと感じた人は多かったかもしれません。ところが、まったく同じ素材を取り上げ、ほとんど原稿が同じになるということが起きました。「なるほど」とうなずかせる素材を選んだり、「きらっと光る」原稿を作成する難しさを感じました。

朗読・アナウンス部門の審査には山口放送(株)の中谷隆宏アナウンサーがあたって下さいました。今年も、発表者一人一人に大変に熱のこもった講評をいただき、参加者は大満足でした。プロのアナウンサーが自分の「読み」をどのようにコメントするのかは一番興味のあるところですが、他の人の「読み」の講評もまた大変参考になります。大会は技を競う場であり同時に研修の場でもあることに気づいたことと思います。

ビデオ・メッセージ部門の審査は、山口放送(株)制作部次長の久保和成様にお願ひしました。専門家の視点からそれぞれの作品を批評していただきました。次なる作品への意欲をおおいにかりたてられるお話でした。

来年度の全国総文祭青森大会に推薦されたのは次のとおりです。

* アナウンス部門

最優秀賞 岩国高等学校 村重舞花

優秀賞 山口高等学校 池畑美樹子

優秀賞 岩国高等学校 伊村友希

* 朗読部門

最優秀賞 山口高等学校 金子愛

優秀賞 下松高等学校 景山真衣

優秀賞 岩国高等学校 奥本直子

* ビデオメッセージ部門

最優秀賞 岩国総合高等学校

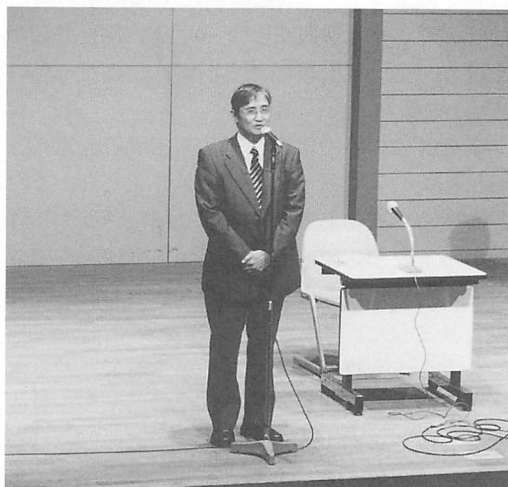
「不思議城下町—

野の花小路・野の花小町・灯りの小路」

* オーディオピクチャー部門

最優秀賞 山口中央高等学校

「燈幻郷」



将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 岡 茂 樹

(防府高等学校教諭)

第26回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、全国高等学校総合文化祭将棋部門大会兼第40回全国高等学校将棋選手権大会の県予選を兼ねて、5月29日（土）・30日（日）の2日間開催されました。開会式には山口県高文連会長の中島俊泰先生、山口県教育委員会指導課の古谷芳明先生、事務局の角中悦太郎先生をお迎えしました。初日に団体戦、翌日個人戦の2日間開催も2年目になり、参加生徒も増え、延べ120人のたいへん盛り上がった大会になりました。

団体戦には16チームが参加し、総当たりのリーグ戦を行いました。各組1位が決勝リーグに進出しさらに総当たり戦を戦います。チームの勝敗が決まっても個人の勝ち数の合計が順位に影響するため、どの対局も重要です。決勝リーグに残ったのは4チームとも宇部高校。男子団体戦7連覇の偉業を成し遂げました。

男子個人戦は56人のトーナメント戦を行いました。3回戦までは20分切れ負け制で読みの速さがいっそう求められます。優勝した中村君（新南陽）はまだ1年生。8月の高校竜王戦では全国3位に入賞した強豪です。敗者は敢闘賞を目指す親睦リーグ戦や指導対局を行いました。

女子個人戦は8人のリーグ戦で、過去最多の参加者数でした。昨年度の中国チャンピオンの高橋さん（宇部）が全勝で貫禄を見せました。

<団体戦>

第1位 宇部高校A

酒井教光・笹川稔・河野健

第2位 宇部高校D

糸野智史・石田敦士・濱野慎司

第3位 宇部高校C

境恵輔・名和田隆史・野中洋志

<男子個人戦> 56人

第1位 中村俊一郎（新南陽高校）

第2位 松本 幸士（防府西高校）

第3位 古江 秀匡（下関西高校）

第3位 藤里 尚樹（岩国高校）

敢闘賞 藤兼 史朗（岩国総合高校）

梅山 大樹（下松高校）

<女子個人戦> 8人

第1位 高橋 美妃（宇部高校）

第2位 新谷 綾加（宇部高校）

第3位 長谷川奈々（宇部高校）

団体戦と男女個人戦の優勝者は、徳島県阿南市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。

「自己責任」という流行語ができた年でしたが、将棋の対局はまさに全てが自分の責任。自分の考え通りに駒を動かせる代わりに対局結果の全てが実力です。いっそうの実力アップ、山口県の棋力向上を期待しています。



文芸部門

会場：周南市新南陽ふれあいセンター

理事長 萩原直子
(萩高等学校教諭)

10月23日（土）、周南市新南陽ふれあいセンターで第2回文芸部門大会が開催されました。大会に先立って行われた文芸部門コンクールでは、前回の反省を踏まえ、応募の締切りを夏休み中に設定したり、作品に対する評価を明確にするためカットを禁止したり、応募者全員に作品集を配布して審査を迅速化するなどの改善を加えて実施しました。

20校146人の応募者の中から審査会を経て決定した受賞者を以下に記します。

最優秀賞	山口中央高2年	中原 有紀さん
優秀賞	山口中央高3年	高森 愛美さん
	早鞆高 3年	山田 愛子さん
	山口高 3年	静屋沙代子さん
入選	長府高 2年	下田 裕子さん
	下松高 1年	境 茉莉子さん
		他12名

また、下関南高校と早鞆高校は学校奨励賞に選ばれています。

この受賞によって、最優秀の中原さん、入選の下田さん、境さんはそれぞれ来年度の全国総文祭青森大会に推薦されました。また、山口中央高校も文芸誌に関わる活動が顕著だということで、同大会に推薦されました。

一方、文芸部門大会は16校、81名の参加を得て実施されました。午前中は福島県より和合亮一先生をお迎えし、講演を頂きました。和合先生は第4回中原中也賞を受賞された詩人であり、現在高校で教鞭も執っておられます。飽きさせない話術で、時間が瞬く間に過ぎていきました。講演後の質疑応答では多くの質問が寄せられ、予定時間を超過するほどに盛り上がりを見せました。

午後からは分科会として、小説、詩、短歌俳句部門に分かれ、創作や意見交換を行いました。その後、全体会を経てコンクールの表彰式を行い、盛会裏のうちに無事大会を終了しました。

部活動の統廃合が盛んな現状のなかで、昨年高文連の14番目の専門部として立ち上がった文芸部門。生徒たちのペンによる自己表現への強い意欲と、それを支援する多く先生方の前向きな取り組みによって当部門が運営されていることをつくづく実感させられました。大会時に寄せられたアンケートによると、生徒たちはまだまだ多くの交流を求めていることが分かります。こうした課題を一つずつクリアし、文芸部門の一大支柱として文芸部門大会が今後ますます発展していくことを願ってやみません。



第28回全国高等学校総合文化祭の記録

藍色の 創造の風 渦となれ 2004徳島

全総文祭(徳島大会)参加校一覧

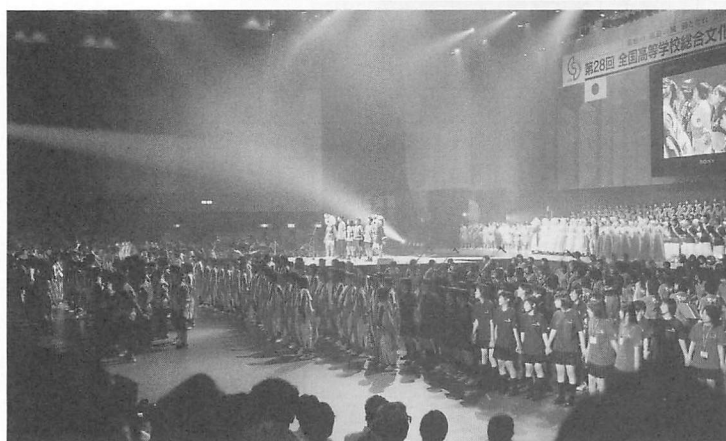
部 門	高等学校	参加 生徒数	出品 点数	備 考 (演奏曲目・作品等)
パ レ ー ド	誠 英	(30)		(2校合同出演) バトントワリングにも出演
	慶 進	(15)		
演 劇		0		
合 唱	県立山口中央	12		演目「Ecco mormorar l'onde」「私と小鳥と鈴と」
吹 奏 楽	県立徳 山	45		演目「第六の幸運をもたらす宿」より The Inn of the Sixth Happiness 山口県民謡「男なら」によるパラフレーズ
器楽管弦楽	県立岩 国	21		演目「プレリュード3」
日 本 音 楽	県立 萩	6		演目「波」
マーチングバンド		0		
バトントワリング	誠 英	30		演目「SUMMER OF PASSION」
	慶 進	15		
美 術・工 芸	県立下関商業	1	1	デザイン「真珠」 佐々木 梢 (3)
	県立防 府	1	1	デザイン イラストレーション「夢」 山田 崇 (3)
	県立豊 浦	1	1	絵画「時間とは絶えずうねり続けている流れである」 田尾松太 (3)
	県立徳 山	1	1	絵画「明くる前」 末次奈津重 (3)
	県立柳 井	1	1	絵画「冬麗」 濱田香織 (2)
書 道	県立山口中央	1	1	漢字「長安春望」 和田奈津季 (3)
	県立徳 山	1	1	漢字「馬」 磯村浩一 (3)
	県立防 府	1	1	漢字「臨 史晨前碑」 中川理恵 (3)
	県立下関第一	1	1	漢字「臨 張遷碑」 安野 豊 (2)
写 真	県立下松工業	1	1	単写真「山野草」 國弘健太郎 (3)
	県立熊 毛 北	1	1	単写真「夫婦」 河原洋美 (2)
	県立西 京	1	1	単写真「フルーツ」 古谷峰子 (3)
	県立宇部工業	2	2	単写真「ウォーターボーイ」 中尾将太 (2) 「残像」 坂本靖憲 (2)
放 送	県立華 陵	1		朗読 林真里 (3)
	県立熊 毛 南	2		朗読 吉山はるか (2) アナウンス 中野由里 (3)
	県立岩 国	1		アナウンス 伊村友希 (2)
	県立山 口	2		朗読 金子 愛 (2) アナウンス 伊藤尚子 (3)
	県立岩国総合	1	1	ビデオメッセージ「幸福の言葉ー岩国を愛した千代さんからのメッセージ」
	県立山口農業	2	1	オーディオピクチャー「ぶち食べたい! はなっこりー!」
囲 碁	県立宇 部	2		個人戦女子 藤井麻美 (3) 団体戦 (男女混合) 埋田奈央子 (3)
	県立山 口	1		団体戦 (男女混合) 藏重宏章 (3)
	県立防 府	1		団体戦 (男女混合) 山本裕徳 (2)
	県立下 関 西	1		個人戦 (男子) 槌橋賢太郎 (3)
将 棋	県立宇 部	5		団体戦 (男子) 酒井教光 (3) 笹川 稔 (3) 河野 健 (2) 個人戦 (女子) 新谷綾加 (3) 高橋美妃 (2)
	県立新 南 陽	1		個人戦 (男子) 中村俊一郎 (1)
文 芸	県立宇 部	3		俳句 河野陽子 (3) 短歌 長谷川 奈 (3) 散文 中木村朋美 (3)
	県立下 松	2		文芸誌 福田諒子 (3) 詩 藤村祐子 (3)
総合開会式	県立山口中央	(1)		和田奈津季 (3)
合 計		参加生徒数 168名		



▲市街パレード



▼式典



器楽・管弦楽部門

会場：徳島文理大学 むらさきホール

岩国高等学校

3年 米田 彩

台風10号のため、本当に辿り着くのかどうか心配だった私達の乗るバスは、強い雨や風により、私達に不安を抱かれながらも、無事徳島に到着することができました。

私達プレクトラムアンサンブル部は、部員数31人の小規模ではありますが、その分、団結力のあるまとまった部です。この大会への出場が決定し、演奏曲の練習に励んでいる時は、大きな音を出すことや音を揃えることに苦労しましたが、少人数でも、音色の美しさとやる気においてはどこにも負けまいと、一生懸命練習してきました。また、マンドリンを演奏する部は県内では本校しかなく、同年代の人の演奏を目にしたことがないため、今回他校の演奏を鑑賞できることに、大きな期待と喜びを感じていました。

本番当初は、全国という初めての大きな舞台に緊張を隠すことができず、上手く弾けるかどうか不安を募らせていました。しかし、演奏が

始まると、いつもと変わらないメンバーの顔から、いつもの練習風景が浮かび、安心できる心地の中、精一杯演奏できたと思います。

この大会に出場したことで、多くの機会を与えられました。一生に一度になるかもしれないような立派なホールで、自分達の演奏を発表し、今までの練習の成果を試すことができたこと。他校の演奏の中で、私達にはない魅力を発見できたこと。そして、音楽という共通の繋がりや、地域を越えて人と人とが触れ合えたことです。部員一同、とても貴重な体験になったことと思います。後輩達には、この体験を胸に、得たこと学んだことを今後の活動に生かし、今まで以上にプレクトラムアンサンブル部を盛り上げてほしいと思っています。

最後になりましたが、全国高等学校総合文化祭参加にあたり、御支援下さった方々、周到な準備と楽しいイベントで温かく迎えて下さった地元徳島のスタッフの皆様に、心から感謝致します。本当にたくさんの素晴らしい思い出をありがとうございました。



合唱部門

会場：徳島文理大学 むらさきホール

山口中央高等学校

3年 渡邊 祐加

全総文合唱部門会場の徳島市はドイツ人捕虜の人たちが日本で初の「第九交響曲・合唱」を演奏した鳴門市の隣。この歴史ある徳島県での大会に出場できたことで、私たちの夏はとても印象深いものとなりました。私たちは徳島文理大学の新しい素敵なホールで、部員11名でしかない演奏ができたことを嬉しく思います。また、地方色豊かな他校の様々な演奏を聴くことで大変勉強になり、それが後で、合唱コンクール県大会から悲願の中国大会出場への原動力になりました。

徳島大会への出場の推薦が決まったと報告を受けた日のことはよく覚えています。まさか全国の大会に出られる日が来るとは思ってもいなかったもので、当時7名の部員は大喜びでした。しかし、3年になり大会が近づくにつれて喜びよりも不安の方が大きくなってきました。それでも心配を乗り越えることが出来たのは先生方や仲間のおかげでした。

本番では後日の合唱コンクールの課題曲と他2曲を演奏しました。全てが思うように演奏でき

たわけではありませんでしたが、全国から集まってきた高校生の前で演奏することはいい経験になりました。

県の総文事務局長や管弦楽部の指導でお忙しい中を指導・指揮をしてくださった角中先生や、遠く宇部から指導に来てくださった中尾先生、そしていつも私たちのことを思ってくくださる川島先生の存在なくしては、このステージに立つことは出来ませんでした。先生達や放課後私たちの学校に来ていろいろと教えてくれた野田学園高等学校の合唱部のリーダーさん達から学んだたくさんの技術や、それ以上に大切な“歌う心”を体得できたことは私たち部員一人一人の宝物です。

最後になりましたがこのような機会を与えてくださった方々、お世話になった諸先生方、台風の中を準備してくださった地元のスタッフの皆さんに心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



吹奏楽部門

会場：鳴門市文化会館

山口県立徳山高等学校

吹奏楽部部長 武居 歩美

平成16年8月2日（月）～3日（火）の2日間、「藍色の 創造の風 渦となれ 2004徳島」をテーマに徳島県鳴門市文化会館で吹奏楽部門の発表会が開かれ、私達徳山高校は山口県代表として出演しました。

徳山高校は第1日目4番目の出演のため、朝はかなり早く会場に着きましたが、台風接近のため、どしゃぶりの雨の中、貸切バスと楽器輸送トラックとの間で楽器搬入に混雑が生じ、会場入りにかかなりの時間がかかりました。しかしその後は、大会関係者の暖かいおもてなしで、スムーズに、気持ちよく、たのしく演奏することができました。

演奏曲目はアーノルド作曲【「第六の幸運をもたらす宿」より】と岡田昌大作曲【山口県民謡「男なら」によるパラフレーズ】の2曲を演奏しました。特に、山口県民謡「男なら」は、

山口県の民謡を全国に紹介し広めたいと考え、岡田昌大先生にお願いをして発表させていただくことになりました。先生の曲を基に、詩吟、舞踊のお二人の先生に指導していただき、詩吟風に歌詞を歌い、それに合った衣装と踊りを振り付けて演奏しました。大会講師の先生から今までにない新鮮な曲と踊りだと好評をいただき大変うれしく思いました。その後は他県の演奏を最後まで鑑賞しました。どの学校も素晴らしいサウンドで画期的なパフォーマンスもあり、感動的でした。とてもよい勉強になりました。

第1日目終了後、同会場での「交流会」に参加し、地元高校生の見事な司会進行で、とても楽しく、ゆかいな一時を過ごさせていただきました。徳島県の高校生のみなさんありがとうございました。

今回この文化祭に出場するにあたって、御指導いただいた諸先生方、保護者・OBの皆様、その他多くの関係者の皆様から暖かい御支援、

御援助をいただいたことに深く感謝しております。この素晴らしい体験を宝にして、今後の吹奏楽活動に生かして行きたいと思っています。ありがとうございました。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：アスティとくしま

「阿波の国の風にのって」

誠英高等学校

3年 中村 裕美

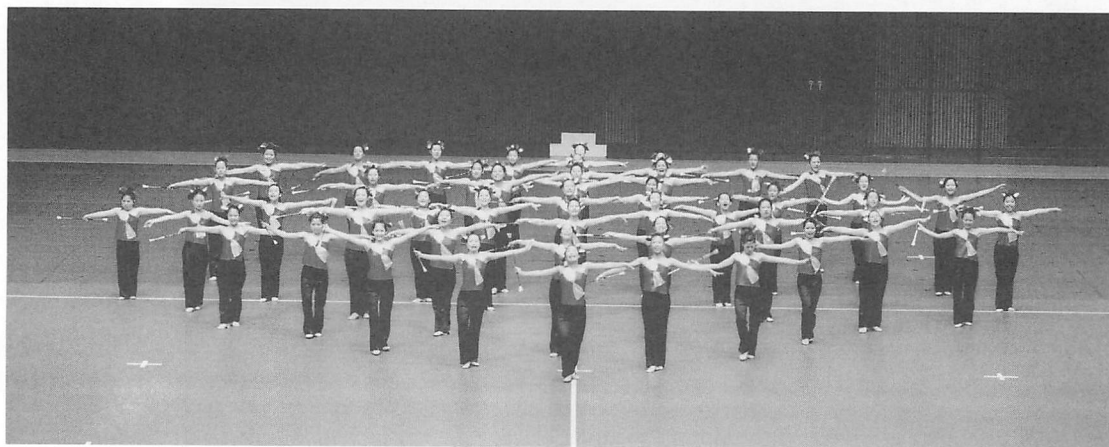
真夏の太陽の輝きを、そのまま反射させるかのようにきらめく六十四の瞳。私たちは、期待に胸をふくらませ、穏やかに横たわる瀬戸の海をすべるように渡って、四国の地へと降り立ちました。どこからともなく聞こえてくる伝統的な阿波踊りの快いリズムが、徳島のさわやかな風に乗って迎えてくれます。

台風十号の接近で、鈍色に曇った空模様も私たちのパワーに気圧されたのか、華々しくパレードはスタートされました。今年は私たち山口県代表がトップをきることもあって、一人ひとりが緊張でバトンも震えるようでしたが、沿道に集まってくださった街の方々のあたたかい観声に励まされ、いつしかのびのびと軽やかなステップへと変わっていきました。

翌日は、予想通り大荒れの天候でしたが、会場となったアスティ徳島のフロアは、全国のマーチングバンドやバトントワリングの仲間の

笑顔や情熱で、熱く光り輝いて見えました。私たちの演技は「It's a Small World」のメロディーに合わせた、キュートで私たちらしく元気でパワーあふれるものです。この日まで耐え抜いてきた厳しい練習や乗り越えてきた困難の壁が頭をかすめ、自分の最高の力を出したいという熱い思いがこみあげてきます。さまざまな世界の紛争や災害に平和への祈りをこめて、私たちは精一杯青春のステップを踏みました。台風をふきとばすかのような拍手の渦に飲み込まれた瞬間、私たちの長い夏は終わりを告げたのです。

台風という突発的な事態の中、文化祭の開催に全力を尽くしてくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。私たちは徳島の地を訪れ、人々にふれ、あの美しくそして激しい阿波踊りの魂の一端をかいま見たような気がします。この貴重な経験を胸に刻み、これからも、見ている人の心を動かし感動を与え続けることができるような演技を目指して輝き続けたいと思います。



日本音楽部門

会場：阿南市市民会館

「大会参加前」

萩高等学校3年 田村 香織

私たちは山口県代表として8月の全国大会に出場することとなり、部員わずか6名で全国大会で通用する演奏を作り上げていくためにそれまで以上に熱心に練習に取り組みました。週に1回だった練習を2回に増やし、朝練も加えたことによって着実に実力をつけることができました。「波」という曲は私たちにとり大曲だったので楽譜を見てすぐに弾くことはできませんでした。初めて全員で合奏したときも、それぞれのパートの速さや音の大きさが違ったりして、とても1つの曲になるような雰囲気ではありませんでした。そのため、各パートごとに練習をし、意見を言い合える話し合いの場を設けお互いの演奏を指摘し合いました。その結果、全国大会前日までには自分たちでも驚くほど素晴らしい曲を作り上げることができたと思います。

「大会の様子」

萩高等学校3年 永富江梨子

大会の前日、顧問の先生から徳島県に台風が上陸したため私たちは演奏できないことになったと連絡がありました。箏曲部の活動の集大成であるこの全国大会で演奏できなくなり、今まで練習してきた日々のことを思うと悔しさがこみ上げてきました。しかし、私たちはたとえ自分たちが演奏できなくても全国レベルの他校の演奏を聴きたいという一念で、台風の中会場に足を運びました。当日、私たちと同じように演奏ができなくても会場に来ていた学校が何校もありましたが、その生徒たちは、悔し涙を流

していました。

全国大会だけあって、思っていたよりもずっとレベルが高く、私たちは見事な演奏にただ聴き入り、いつの間にか吸い込まれていきました。そして、今でも私たちの心の中にその音色は響いています。

「大会参加後」

萩高等学校3年 中村 仁美

残念ながら演奏はできなかったけれど、他校の演奏を聴くことで多くのことを学ぶことができたと思います。技術面はもちろんのことですが、箏という日本音楽の奥深さ、すばらしさを改めて感じました。台風の中をあえて参加したことは決して無駄ではなく、誰もが次の大会への意欲や熱意を新たにしていきました。私たち3年生はこの大会を最後に引退となりましたが、このような体験ができたことに大変感謝しています。

今でも演奏を聴いたときの感動は忘れられません。後輩達も全国大会を通して得たことを生かして、きっと人を感動させる演奏をしてくれるだろうと期待しています。



美術・工芸部門

会場：徳島県立文化の森総合公園

理事長 古賀隆光

(宇部商業高等学校教諭)

今回、全国総文祭徳島大会に参加した5名のみなさんから、感想をいただいています。全国の作品が集う中、それらの作品群を前にし、動かされた心の模様を伝えます。

出品作品『夢』デザイン

防府高等学校3年 山田 崇
多くの同世代の作品を見て、その技術の高さや作品としての深さに唖然とし、同時に確かな刺激が心に残りました。また、パレードでは他国からの参加校もあり、各国の文化の断片を直に感じ取れた様に思えます。台風の接近のため残念ながら全国の高校生らと多く話すことはできませんでしたが、それを差し引いても人生において忘れ得ない体験となりました。



出品作品『真珠』デザイン

下関商業高等学校3年 佐々木梢
今回、この全総文祭徳島大会で、私は新たな課題にぶつかった。全国から集められた作品の中で、客観的に見る自分の作品はとても小さく感じた。胸を張れる作品が作れていたなら、そう感じないはずだ。自信の持てる作品作りが、これからの私の課題だ。次の総文に出品予定の後輩達には、賞などは関係なく、自分の中で最高だと思える作品を出してほしい。



出品作品『冬麗』絵画

柳井高等学校2年 濱田香織
生まれて初めて訪れた四国は、



光も空気も私の住む周防大島とはまるで違って
いた。私のふるさととは、温かい光に満ちた甘い
空気に包まれていて、まるで干した布団にくる
まっているような気持ちになる場所なのだ。四
国の空気も悪くなかったが、私はやはり自分の
生まれ育った土地が一番だと再認識した。最後
に、大会では多くの力作を見られて良い刺激に
なった。

出品作品『時間とは絶えずうねり

続いている流れである』絵画

豊浦高等学校3年 田尾松太

今回、全国高等学校総合文化祭

において私は様々な事を学びました。それぞれ
が自己の内面を外に表現し第三者に何らかの刺
激、衝撃を与えようとしていました。そして何
よりこの集合体が制作した場。すごく新鮮でし
た。私はこの総合文化祭に参加できて本当によ
かったと思いました。自分の芸術に関する幅や
奥行き、棚が一つ増えたと思います。



出品作品『明くる前』絵画

徳山高等学校3年

末次奈津重

一番の印象といえば、や
はり台風のことでありますが、それでも全国の
沢山の作品を見ることができたのが良かったと
思います。立体の作品や大きな作品を制作して
みたくなりました。



開催県の先生方に批評していただいたのが、
大きな収穫であったと思います。よい経験にな
りました。ありがとうございました。

書道部門

会場：徳島県郷土文化会館

徳山高等学校 3年 磯村 浩一

この3年間の書道部での活動の集大成として、全国総合文化祭に参加したことで大変貴重な経験をする事ができました。

まず、全国各地から選抜されてきた作品の数々を実際に自分の目で見れたことは大きいことでした。やはり生で見るのと写真で見るとは雲泥の差があります。私は一つ一つの作品から驚きや書き手の気迫を感じ、深い感銘を受けました。

また全体を通して、互いに交換しあった作品は大切な思い出の品となり、全国から集まった様々な仲間達と交流を深められたことは最もよい思い出になりました。

防府高等学校 3年 中川 理恵

全国総文徳島大会に参加し、とても貴重な経験ができて、県内だけでなく多くの友達を作ることができたことは、高校生活最後の素晴らしい思い出となりました。

会場に飾られた作品は書や篆刻や印など、今まで見たことのないような作品構成もあり、度肝を抜かれたような衝撃を受け、また感動しました。交流会では、作品と名刺を交換し、寄せ書きをしたちょうちんを持って阿波踊りを踊りました。このような体験をし、日本の文化の素晴らしさを改めて知ることができて嬉しく思います。この気持ちを忘れず、これからいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

山口中央高等学校 3年 和田奈津季

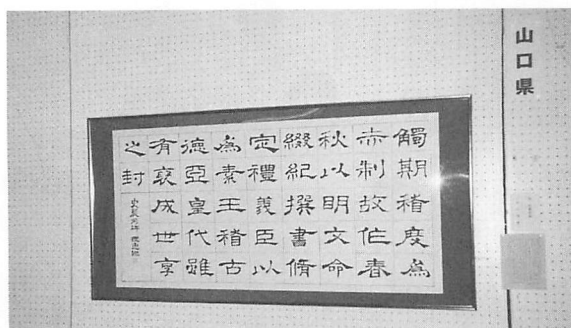
全国総文は書道をしていく上で私の目標でした。会場では、自分が今まで知らなかった書体や表現方法を見て感動する反面、自分の技術の未熟さも感じる事ができとても良い刺激になりました。また字から伝わる迫力や一人一人の個性を理解でき、たくさんの書に触れたことを嬉しく思いました。ただ書を鑑賞するだけでなく、班で作品交換や活動を通して交流ができることも、全総文の魅力だと思います。

目標を達成できたと同時に、大学でもっと書を探求していきたい、という目標も見つかり、自分を変えるきっかけとなったこの文化祭に県代表として参加できたことを誇りに思います。

下関第一高等学校 2年 安野 豊

今回の全国総合文化祭に参加できて、僕はとてもうれしかったです。なぜなら、僕は今までにそのような大きな舞台に立った経験がなかったからです。参加するにあたって、大きな喜びと驚き、そして、とまどいもありました。全国の作品には、僕の知っている古典の臨書から創作作品まで幅広く、同じ高校生のものとは思えない力作が数多くあり、感動し、良い体験になったと思います。

また、交流会では、県内、県外の人達と書道を通して知り合えた事にとても大きな喜びを感じました。これからは自分なりに納得した作品が書けるように努力したいと思います。



写真部門

会場：徳島市立体育館

全国高等学校総合文化祭(徳島大会)に参加して
下松工業高等学校

3年 國弘健太郎

幼い頃、絵画教室に約六年間通っていました。ひそかに「将来は画家になりたいな。」なんて夢も抱いたりもしました。そこで、高校に進学したら美術部に入部しようと思っていましたが、学校には美術部はありませんでした。希望する部活が無く、どうしようか迷っていたそんなある日、写真部の先輩が、全国大会に行くと言うことを聞き、写真部の存在を知りました。

写真のことを何も知らない自分は、顧問の先生にいろんな写真を見せられ、「この写真のどんなところがよいのか。」と問われたとき、答えることができませんでした。先生の指導を受けながら、少しは成長しました。しかし、まだまだ初心者のような私なので、全国大会に行けるなんて考えてもみませんでした。全国大会に行くからには、少しでも勉強しようと、カメラ雑誌を購入して、休日にも写真をたくさん撮りました。

全国大会の会場に行ってみると、高価なカメラをぶらさげた人や、いかにも写真部といった容姿をした人など、様々な人がいました。宿舎では、二十人程度が一部屋で、二泊三日を過ごすことになりました。内気な私は、なかなか皆と打ち解けられませんでした。三日間どう過ごすか頭を抱えていたら、「トランプをやろう。」と私を誘ってくれました。少しずつ話すことができるようになって、布団を敷く頃には、大阪や

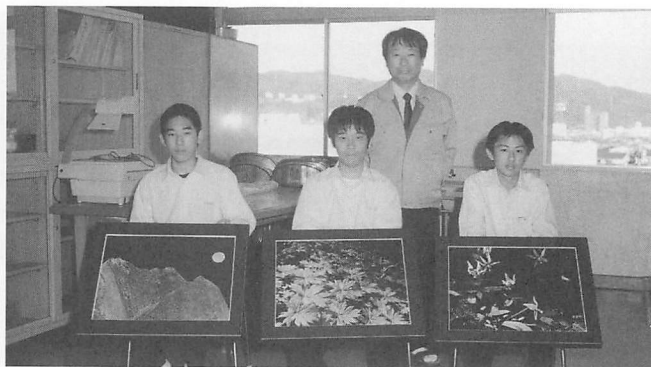
島根から来た人たちと仲良くなり、夜遅くまで修学旅行気分で見ました。二日目の夜は、皆「もう一泊したいな。」と名残り惜しそうにしていました。

展示会場で全国から集められた作品を見まわっていると、表情豊かな人物写真や、個性豊かな写真が展示されていました。「自分にこんな写真が撮れるだろうか。」と考えさせられると同時に、羨ましく思えました。

最終日の撮影会は、台風の影響で体育館の中で行われることになりました。写真のできは二の次で、迫力満点の阿波踊りを目の前で見ることができ、とても幸せでした。

全国高等学校総合文化祭に参加したことは、高校三年間で私にとって一番のプレゼントでした。そんな貴重な体験をさせていただき、顧問の先生方、写真部の先輩や後輩に心から感謝しています。

美術部がなかったため、たまたま入部して出会うことができた写真。今では趣味の一つとなり、これからも大切な趣味であり続けることだと思います。



囲碁部門

会場：徳島県郷土文化会館

宇部高等学校

藤井 麻美

徳島県で第28回全国高文祭が開催されました。今年は台風の影響もあって、参加出来ない県があったのは残念でしたが、大会が無事開催され安心しました。

大会当日、会場はたくさんの人々であふれていました。私にはこの大会が最後という気負いもあり、とても緊張していました。そんな中、対局が始まりました。まず1回戦目は緊張しながらもなんとか勝てたのでほっとしました。しかし、2回戦では実力不足とミスとが重なり負

けてしまいました。ショックでしたが、それでも気持ちを落ち着けて残り4戦はなんとか勝ち、5勝1敗で全国5位入賞を果たしました。

そして驚いたことに今年泊まったところはお寺でした。最初は他県の選手と部屋が同じであることに戸惑いを感じていましたが、一緒にトランプなどをするうちに打ち解けていき、交流を深めることができました。また食事はとても健康的だったし、お寺の方々も親切で、大変充実した時を過ごすことが出来ました。

私にとって囲碁というのは高校の三年間に意義を与えてくれたものです。大会を通じて他校の友達ができるなど、同年代はもちろん年代の違う方とも接する機会をもてました。時には挫折しそうになることもありましたが、あきらめず、努力を続け、全国大会で入賞という目標が達成できたことはこの上ない喜びです。



放送部門

会場：阿南市文化会館

岩国総合高等学校

3年 佐藤 紘美

放送部で活動した3年間は、私にとってとても有意義なものとなりました。何気なく入った部活動でしたが、内容の濃い活動をすることができました。

特に、最後の1年間は集中力をもつての本格的な取り組みとなりました。3年生になり、引退も間近で、私は最後に何かを成し遂げたいと思っていました。そして、いままでの活動の経験を生かし、ビデオメッセージを作ることになりました。

岩国市出身である作家の宇野千代さんは生前のたくさんの言葉を残されました。その中に「自分の幸福も人の幸福と同じように念願でする境地まで歩いていきたい」という素晴らしい言葉があります。こういった幸福の言葉を紹介する「幸福の言葉—岩国を愛した千代さんからのメッセージ」というビデオメッセージを制作することを決めました。意気込む反面、苦労したことも多かったです。千代さんのメッセージに込められた想いを理解し、視聴する人にその想いを伝えようと試行錯誤を繰り返しました。

伝えたい事はたくさんあるのに、制限時間が5分間と限られており、聞きづらくないように文字数を抑えるのにも、大変苦労しました。努力の結果、最高の賞である優秀賞をいただいたときは、とても嬉しかったです。それも、これまで私を支えてくれた友人や先輩、後輩、先生方のおかげだと思います。

私は、この先も放送部で過ごした3年間の事を忘れないと思います。辛かったこともあったけど、挫けず頑張る事の大切さを学びました。

本年度の徳島県で行われた全国大会は、台風の吹き荒れる中で行われました。部門によっては、中止となり涙をのんだ部門もありましたが、放送部門の日程は後半であり、なんとか開催されました。こういった中で開催された全国高等学校総合文化祭放送部大会でしたが、地元徳島県の高校生の仲間の熱い想いの中で行われ、台風を吹き飛ばす素晴らしいものでした。みなさんも部活動に取り組む中で、辛く苦しい事があると思いますが、全国高等学校総合文化祭はとても素晴らしい大会なので、参加できるよう頑張ってくれることを期待いたします。



将棋部門

会場：阿南市文化会館

常任理事 **弘中敏之**
(宇部高等学校教諭)

第28回全国高等学校総合文化祭将棋部門兼第40回全国高等学校将棋選手権大会が、7月30、31日にかけて、徳島県阿南市で開催されました。宿泊したホテルから会場まで、小一時間ばかりの所をジャンボタクシーを借りて移動しました。台風の接近もあり、荒天が心配されましたが、大会全日程をどうにか無事に終了でき、新山口駅に帰ってきた時には、選手共々ほっとしました。

さて大会の様子ですが、会場は新しく、広いスペースが設けられていて対局に集中できる良好な環境でした。山口県から出場した男子個人の中村君、男子団体の宇部高校チームは、全力を尽くして戦いましたが、残念ながら力及ばず初戦敗退。女子個人は、宇部高校から高橋さん、

新谷さんが出場し、両者持てる力を発揮しました。特に高橋さんは、3回戦まで勝ち進みベスト16入り。4回戦では最後に詰ましにいった段階で、惜しくも時間切れ負けとなりましたが、今後の活躍に期待がもてる結果となりました。

＜男子団体＞ 宇部高等学校

(酒井教光・笹川 稔・河野 健)

一回戦 千葉高等学校 (千葉県)

……負 (0勝3敗)

＜男子個人＞

中村俊一郎 (新南陽高等学校)

二回戦 伊藤大悟 (磐田南高)

…負

＜女子個人＞

高橋美妃 (宇部高等学校)

一回戦 川村 幸 (高知西高)

…勝

二回戦 青柳沙彩 (明治学院東村山高)

…勝

三回戦 藤澤千佳 (守山高)

…勝

四回戦 斉藤能里子 (室蘭栄高)

…負

新谷綾加 (宇部高等学校)

二回戦 高崎真子 (慶應義塾湘南藤沢高)

…負



文芸部門

会場：徳島県教育会館

下松高等学校

3年 藤村 祐子

福田 諒子

思いがけず全国総文祭に参加することになりその上台風10号が徳島県に上陸するというハプニングもあり、出発前は不安で一杯でした。しかし3日間の日程が終了する頃には、本当に参加して良かったと実感しました。

展示会場には、全国から寄せられた文芸誌が手作りの細やかな配慮により飾り付けてありました。(県花の夏みかんの花のモチーフに感激)

「詩の交流会」司会、進行役は全て高校生スタッフです。この日のために2つの催しが計画されていました。全国から集まる仲間達に、楽しく充実したひとときをプレゼントしたいという意気込みと熱意が感じられ、時間はあっという間に過ぎていきました。

1つめは【写真によるイメージ詩】グループに分かれて創作し、合評会。プロの詩人の方や他県の仲間の意見を聞くことができ勉強になりました。

2つめは【詩のパッチワーク】決められたテーマから連想するフレーズを参加者が創作し、

つなぎ合わせて1つの詩を合作するという試みでした。ユーモラスなフレーズが飛び出したり、司会者の機転の利く進行で会場は盛り上がり、時間が足りない程でした。全国レベルの仲間との交流はとても新鮮で刺激的でした。

雨の中、きびきびと動いて大会を支えていた高校生スタッフの姿は忘れられません。閉会式では、大会を最後までやり遂げたという感激が伝わって、涙が出そうな感動を覚えました。

帰路につく私達を最後まで見送ってくれた仲間達の声聞きながら、心の底からこのような機会を与えて下さった皆様への感謝の気持ちで一杯になりました。ありがとうございました。



山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(1)

番号	学校 \ 事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演 劇	金管合奏
1	安 下 庄	63				平 7	平4平10		
2	久 賀	63					平 3	平10	
3	岩 国								平 1
4	岩 国 総 合						平11		平 1
5	岩 国 商 業			平 3				62平15	
6	岩 国 工 業						平 2	平6平8	
7	坂 上			63	平11		平 5	平 3	
8	広 瀬		平14	63			※		
9	高 森						平 2		
10	柳 井						平 7	平11	
11	柳 井 商 業						平11	平14	
12	柳 井 工 業						平14	平1平4平11	
13	熊 毛 南	63					平 6 ※	平12	
14	田 布 施 農 業					分平15	平 3	平 5	
15	田 布 施 工 業							平16	
16	光	63					平 8	※	
17	光 丘						平8平11	平14	
18	熊 毛 北						平2平14	63平 7	
19	下 松	63			平12	平 7	平15		
20	華 陵	63					平 8	平 1	
21	下 松 工 業						平 1		
22	徳 山		定平 4		定平10	定平 8	平15	平12	
23	徳 山 北		63				平 4 平11	平 8	
24	徳 山 商 業		平 5	63				平 3	
25	徳 山 工 業							平4平7	平 1
26	鹿 野		平 3		平10		平 9	平1平16	
27	新 南 陽	63						平5平14	
28	南 陽 工 業		平 1				62		
29	佐 波			63		平 7			
30	防 府								
31	防 府 西						平10		平 1
32	防 府 商 業		定63				平12	平 6	平 1
33	山 口		定62定平16			定平15	平 2		
34	山 口 中 央	63	平12		平10	平13			
35	西 京	62					平 4	平 7	
36	山 口 農 業						平 5	平 3	
37	宇 部	63							
38	宇 部 中 央		定平 1			定平14	平10	63	
39	宇 部 西						平14	平10	
40	宇 部 商 業			63			62平 6	平 3	
41	宇 部 工 業		平13	平 2			平 8		
42	小 野 田		定63						
43	小 野 田 工 業		定63					平 4	
44	厚 狭			平 1			平15	平 9	
45	美 祢	62			平 9		平 4	平 2	
46	大 嶺		平 4					63平13※	
47	美 祢 工 業						63	平10	

ピアノ……………弘中 孝
マリンバ……………水野与旨久
フルート……………西田直孝トリオ
トランペット…田宮堅二

胡弓……………姜建華・楊宝元
尺八と琴……………中村明一、八木美知依
オペレッタ…木月京子ひとりオペラ
交響楽団……………山口県交響楽団

演劇……………のんた・宇部芸術座・海峡座
金管合奏……………東京金管五重奏団
打楽器……………韓国の太鼓と踊り
デュオコンサート……………三輪 郁 菅沼ゆづき

山口県高等学校文化連盟 自主事業 実施校一覧

(2)

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓 打楽器 トランペット	尺八と琴 オベレック	交響楽団	演 劇	金管合奏
48	田 部							平1平13		
49	西 市							63		
50	豊 浦									
51	長 府									平 1
52	下 関 西									
53	下 関 南									
54	下 関 第 一								平 5	
55	下 関 中央工業							平12	平 6	
56	下 関 工 業	62							平 2	
57	響		平 5					平 1		
58	豊 北	62						平 3	平15	
59	日 置 農 業	63	平 5			平15	平 9		平2平13	
60	大 津	63						平12	平 5	
61	水 産							平12		
62	萩	63						平 3	平 6	
63	萩 商 業	63						平 7	平2平12※	
64	萩 工 業							平6平16	平4平9	
65	徳 佐				分 63			63平10	平13	
66	奈 古		分 ※			平11		平 1 平 9		
67	盲	63	平 3			平16	平8平10	平 7	平 1	
68	聾									
69	岩 国 養 護		平3平13			平16			平10	
70	田 布 施 養 護		平 6	※				62		
71	徳 山 養 護		平11	平 1						
72	周 南 養 護		平15	※						
73	防 府 養 護	62	平 3	63	平12			平16		
74	山 口 養 護							平14		
75	宇 部 養 護		63平5平14					平1平9		
76	下 関 養 護		平2平6					平16		
77	豊 浦 養 護		平11平16				平13			
78	萩 養 護		平 6							
79	下 関 商 業					定平14				
80	高 水								62	
81	柳 井 学 園		平 6						63	
82	聖 光							平 2		
83	山口県桜ヶ丘									
84	誠 英								平7平9	
85	多々良学 園									
86	中 村 女 子	63						平2平5	平11平16	
87	野 田 学 園	63								
88	山 口 県 鴻 城							平10	平12平15	
89	宇 部 鴻 城							平 7	平 9	
90	慶 進									
91	美 祢 中 央									
92	宇部フロンティア大学付属香川							平1平5平15	平11	
93	サ ビ エ ル									
94	早 鞆									
95	下関短期大学付属	62・63	平 4				平 7		平 8	
96	長 門							平 6		
97	萩 光 塩 学 院									

(注) <62～平16……実施年度> <※印……平成17年度実施予定>

《自主事業》山口県交響楽団演奏会

萩工業高等学校

1年 林 典昭

1度聞いたことのある曲も、オーケストラの生を聞くと、ぜんぜんはくりよく違ってあつとうされました。音から、映像が想像できるようなかんじがしました。

萩工業高等学校

1年 阿部 竜也

今日は、2時間で11曲きいたけど、中でも各楽器ごとの演奏の中で弦楽器の「プリंक、プリंक、プリंक」が印象に残った。指ではじいて出る音がやさしくてよかった。ハリーポッターのメドレーも、映画で流れる音楽が生でできたのでうれしかった。とてもいい記念コンサートになったと思う。

萩工業高等学校

1年 久保田真一

ひごろ聴くことのないバイオリンや、トランペットなどの演奏を聴いて、音楽のすばらしさを感じました。また、あまり意味のないように思っていた指揮者の大切さもわかりました。よく耳にする曲も多かったのでとても聴きやすかったです。



下関養護学校

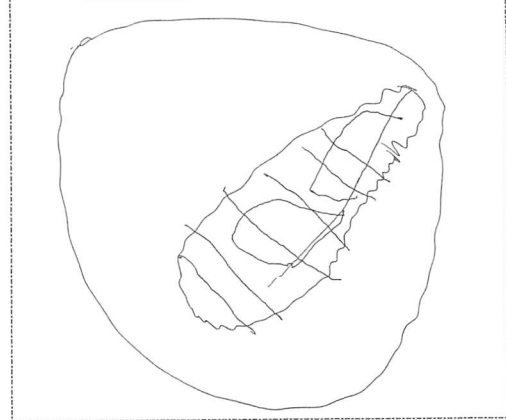
後元 太

ぼくは中学校のとき吹奏楽部でチューバを吹いていました。久しぶりにチューバを見てうれしかったです。吹きたかったです。楽器紹介の金かん楽器でトランペット、トロンボーン、チューバの楽器の演奏を聞いてとりはだかたちました。でもユーホニウムがなかったのなぜなのだろうと思いました。ぼくはプログラム2番の歌劇カルメン前奏曲が1番好きな曲でした。聞けてよかったです。あと聞いたことある曲がいっぱい聞けてうれしかったです。オーケストラでドレミの歌を歌えてよかったです。いい思い出になりました。

ぼくは山口県交響音楽団にはいってチューバを吹きたいと思いました。今日はうれしかったです。

防府養護学校 高等部

* 感想



「バイオリン」

音を形に表しました。

《自主事業》巡回演劇公演

田布施工業高等学校

電子科 3年

演劇というものをみるのは数年ぶりでなにか小学生の時の思い出のような感覚で「彦一ばなし」というものを観ることができました。

このような劇というものは個人で観にいくということはほとんどなく学校の授業の一環としてみることができたということで、とても幸運なことだと思いました。

演劇の内容も三人で演じる中で独特の世界感を感じ、この先どのようなストーリーになっていくのだろうと思いながら楽しむことができました。

「彦一ばなし」という話は聞いたことがあるぐらいで内容は全然知りませんでした。そうい

うこともあってまた演劇を観てみたいという気持ちになりました。

機会があるのなら、またこのような演劇を観ることができたらとても楽しいだろうなと思いました。



《自主事業》水野与旨久マリンバコンサート

豊浦養護学校

高等部1年 金山 泰子

TVでは2回ほどマリンバの演奏を聴いたことがありましたが、生の演奏は聴いたことがなかったのもとても良かったです。

同じ楽器でもたたくバチでいろんな音色があって一つ一つの音が同じ楽器からでた音なのに、みんな違う音ですごいなと思いました。子守唄ではあまりに気持ちよくておもわず寝てしまいそうでした。それから音ができたのが七・五・三と同じ？というお話を初めて知ったので一つ勉強になりました。音楽は耳で聴くのも大切だけど体全体で聴いて楽しむものなんだとお二人がとても楽しんで演奏していらっしゃったのを見て思いました。

ピアノの音もとても良く私もあんな風に弾い

てみたいなと思いました。

いつか目には見えない大切なものを見つけられるようにがんばります。最後に本当に素敵な演奏を有り難うございました。これからもお体に気をつけてがんばってください。



《自主事業》となりの国の打楽器と踊り

岩国養護学校

高等部1年 河村 夏季

私は、今日、韓国の踊りと打楽器を見ました。私達のためにわざわざ韓国から日本まで来てくれました。日本語も、しゃべっていました。きっと、大学かどこかで、日本語をしゃべる練習とかきとしたにちがいないと思いました。「韓国の人ってすごいなあー。」と感心しました。私達のために、こんなすばらしい劇を見せてくれたので、私も感心しました。また、あの女性のリーさんと、男性のチャーさんに会いたいです。すごくかわいかったです。あの、リーさんと、チャーさんと一緒に打楽器で踊りたかったです。じつは、私、本当は、リーさんとチャーさんと一緒に踊りたかったです。韓国語で「アニョハセヨ」という言葉が、私達日本人にとって、「おー、これはすばらしいー。はあー、私、韓国語、知らなかったなあー!!感動したあー!!」とみんなもきっと、思っていたにちがいないです。

盲学校

高等部3年 井口 真人

ぼくは韓国の太鼓を初めて聞きました。太鼓の音がにぎやかでよく響いていました。ぼくは太鼓を持ってみました。韓国の太鼓はタンバリンみたいな形をしていました。太鼓のリズムが難しかったです。でも叩けるところもありました。韓国の人々が太鼓を持ってぐるぐる回りながら叩くところが印象的でした。

今日は盲学校で太鼓を演奏していただきありがとうございました。

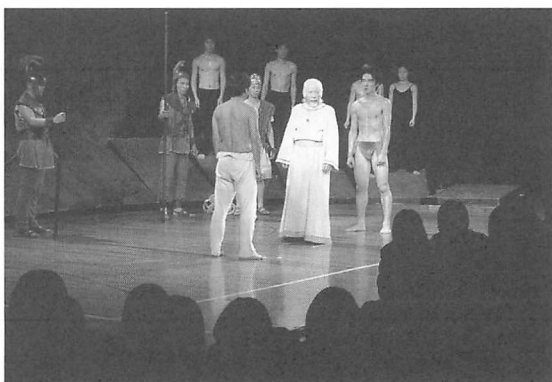


— * — *

平成16年度 「本物の舞台芸術体験事業」(学校公演) 音楽劇／演劇



11/19 (金) 久賀高校 (音楽劇)



(演劇) 12/3 (金) 宇部フロンティア大学付属香川高校

平成16年度 山口県高等学校文化連盟【事業報告書】

月	日	事	業	会 場
4	15 21		会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	(上旬) 14 18 20 25 29~30	平成15年度「高文連」発行 水野与旨久マリンバコンサート 水野与旨久マリンバコンサート 県高校総合文化祭(将棋)	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	下関市 山口高校(定時制) 豊浦養護学校 東京都 フロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	10 12 14 16 17 18~19	巡回演劇「劇団のんた」 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠剣詩舞) となりの国の打楽器と踊り となりの国の打楽器と踊り 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、 マーチングバンド・バントワリング)		鹿野高校 萩市民館 岩国養護学校 盲学校 ルネッサながと ルネッサながと
7	2 9 29-8/2 30-8/3 31	山口県交響楽団演奏会 第28回全国高等学校総合文化祭	第14回中国地区高文連関係者合同会議 社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	鳥取市 下関養護学校 徳島県 徳島県 徳島市
8	28-29	第15回全国高総文祭優秀校東京公演		東京都 国立劇場
10	20 23 23 30-31	山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(囲碁) 県高校総合文化祭(文芸) 県高校総合文化祭(演劇)	※台風のため中止	熊毛南高校 宇部高校 周南市 新南陽ふれあいセンター 下関市文化会館
11	4 4 5 7 12 12~14 15 17 17 19	山口県交響楽団演奏会 山口県交響楽団演奏会 巡回演劇「劇団海峡座」 県高校総合文化祭(放送) 第6回高校生文芸道場 中国ブロック大会 県高校総合文化祭(美術・工芸、書道、写真) 巡回演劇「宇部芸術座」 本物の舞台芸術体験事業(音楽劇) 本物の舞台芸術体験事業(音楽劇)	第1回高文連理事長会	防府養護学校 萩工業高校 中村女子高校 ニューメディアプラザ山口 広島市 ルネッサながと 田布施工業高校 山口中央高校 下関南高校 久賀高校
12	2 3 18	本物の舞台芸術体験事業(演劇) 本物の舞台芸術体験事業(演劇) 第6回高校生文芸道場総合大会		田布施農業高校 宇部フロンティア大学付属香川高校 国立オリンピック記念青少年総合センター
1	27-28 28 27~29	第13回全国高文連将棋新人大会	第16回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	札幌市 札幌市 仙台市
2	2 4 23		第2回高文連理事長会 社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 東京都 フロラシオン青山 山口中央高校
3	3 26	第24回器楽管弦楽スプリングコンサート 平成16年度「高文連会報」発行	第2回中国地区高文連実務担当者会議	鳥取市 柳井市
【その他】 県高校総合文化祭準備(実行)委員会 総合開会式・音楽関係4部門(大津高校) 展示関係3部門(萩工業高校) 日本音楽・吟詠剣詩舞部門(萩高校) 演劇部門(下関商業高校) 囲碁部門(宇部高校) 放送部門(岩国総合高校) 将棋部門(防府高校) 文芸部門(萩高校) 各専門部会 各専門部研修会 主管校を中心に開催 部会長校を中心に開催 県下各地において開催				

山口県高等学校文化連盟 / 【共催】

第8回やまぐち県民文化祭/第43回山口県吹奏楽コンクール
第8回やまぐち県民文化祭/第59回合唱コンクール山口県大会
第8回やまぐち県民文化祭/第17回全日本マーチングフェスティバル山口県大会
第28回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会

/ 【後援】

第28回全国高等学校囲碁選手権大会山口県大会
第10回山口県盲・聾・養護学校文化祭美術作品展

平成16年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増減(減△)	摘 要
繰 越 金	4,668,499	4,668,499	0	
会 費	14,707,000	14,700,050	△ 6,950	
(内訳)	14,525,000	14,513,450	△ 11,550	全日制 ……………350円×41,467人
	65,000	69,000	4,000	定時制・盲・聾・養… 50円× 1,380人
	117,000	117,600	600	学校負担金 ……………100円× 1,176学級
補 助 金	4,773,000	3,447,000	△ 1,326,000	
(内訳)	1,060,000	1,060,000	0	県総文祭県補助金
	100,000	100,000	0	長門市補助金
	3,613,000	2,287,000	△ 1,326,000	全総文祭県補助金
調整基金から繰入	0	0	0	
雑 収 入	4,501	3,348	△ 1,153	利息
合 計	24,153,000	22,818,897	△ 1,334,103	

(支出の部)

区 分	予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運 営 費	1,167,600	995,431	172,169	
(内訳)				
事務用品費	220,000	159,586	60,414	事務用品、写真、事務機器維持
通 信 費	420,000	308,245	111,755	電話 郵便 運送料等
分 担 金	527,600	527,600	0	全国会費、賛助会費、中国分担金
会 議 費	1,730,000	1,584,461	145,539	県内、全国会議 研究大会、事務局旅費
事 業 費	18,232,797	15,474,108	2,758,689	
(内訳)				
県 総 文 祭	8,099,220	7,186,639	912,581	総合開会式 各部門大会開催費(別紙)
全 総 文 祭	4,598,577	3,379,676	1,218,901	生徒旅費225万 引率旅費98万 運送費15万
自 主 事 業	2,394,000	2,094,000	300,000	10公演
大会補助金	50,000	50,000	0	盲・聾・養護学校文化祭
専門部会費	1,891,000	1,619,293	271,707	研修費 通信費 全国高文連分担金
印 刷 費	1,200,000	1,144,500	55,500	高文連集録 会報 県総文ポスター
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	3,022,603	21,110	3,001,493	賞状筆耕料 普通傷害保険料
合 計	24,153,000	18,075,110	6,077,890	

(収入) 22,818,897 - (支出) 18,075,110 = (繰越) 4,743,787

平成16年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末残高
13,000,000	0	13,000,000

上記の通り相違ありません

平成17年4月14日

監事

野 村 稔

監事

中 村 行 彦

平成17年度 山口県高等学校文化連盟【事業計画】

月	日	事	業	会 場
4	14 19		会計監査 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	(上旬) 9 10 13 23 24 28～29	平成16年度「高文連」発行 三輪 郁・菅沼ゆづき デュオコンサート 三輪 郁・菅沼ゆづき デュオコンサート 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭(将棋)	高文連評議委員会 社団法人全国高等学校文化連盟第1回通常総会	周南養護学校 田布施養護学校 宇部市 広瀬高校 東京都 フロラシオン青山 防府市文化福祉会館
6	14 16 17～18 18	水野与旨久マリンバコンサート 県高校総合文化祭総合開会式 県高校総合文化祭(器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、 マーチングバンド・バトントワリング) 県高校総合文化祭(日本音楽、吟詠剣詩舞)		奈古高校 須佐分校 スターピアくだまつ スターピアくだまつ 下関市民会館
7	(上旬) 26～31 27～31 28	第29回全国高等学校総合文化祭	第15回中国地区高文連関係者合同会議 社団法人全国高等学校文化連盟各専門部会 社団法人全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	岡山市 青森県 青森県 青森市
8	28～29	第16回全国高総文祭優秀校東京公演		東京都 国立劇場
9	10 27	巡回演劇「劇団のんた」 本物の舞台芸術体験事業(管弦楽)		光高校 山口中央高校
10	7 22 23 25 27～29 29～30	巡回演劇「劇団海映座」 県高校総合文化祭(文芸) 県高校総合文化祭(囲碁) 山口県交響楽団演奏会 県高校総合文化祭 (美術・工芸 書道 写真) 県高校総合文化祭(演劇)		萩商業高校 スターピアくだまつ 宇部高校 熊毛南高校 防府アスビラート 宇部市渡辺翁記念会館
11	5 (上旬) (中旬) 17	県高校総合文化祭(放送) 第7回高校生文芸道場 中国ブロック大会 巡回演劇「宇部芸術座」	第1回高文連理事長会	ニューメディアプラザ山口 山口中央高校 島根県 大嶺高校
12	(上旬) 17	平成17年度「高文連会報」発行 第7回高校生文芸道場総合大会		東京都
1	26～27 27 (下旬)	第14回全国高文連将棋新人大会	第17回全国高文連研究大会 都道府県高文連実務担当者会議	名古屋市 名古屋市 富山市
2	(上旬) 13 (下旬)		第2回高文連理事長会 社団法人全国高等学校文化連盟第2回通常総会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 東京都 フロラシオン青山 山口中央高校
3	(上旬) (下旬)	第25回器楽管弦楽スプリングコンサート	第2回中国地区高文連実務担当者会議	岡山市 岩国市
【その他】 県高校総合文化祭準備(実行)委員会 総合開会式・音楽関係4部門(下松高校)…………… 展示関係3部門(防府高校)…………… 日本音楽・吟詠剣詩舞部門(下関南高校)……………主管校を中心に開催予定 演劇部門(宇部高校)…………… 囲碁部門(宇部高校)…………… 放送部門(山口高校)…………… 将棋部門(防府高校)…………… 文芸部門(高森高校)…………… 各専門部会……………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会……………県下各地において開催予定				

平成17年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減 (△減)	摘 要
繰 越 金	4,743,787	4,668,499	75,288	
会 費	14,007,500	14,707,000	△ 699,500	
(内訳)	13,825,000 67,500 115,000	14,525,000 65,000 117,000	△ 700,000 2,500 △ 2,000	全日制 ……350円×39,500人 定時制・盲・聾・養… 50円×1,350人 学校負担金 ……100円×1,150学級
補 助 金	5,475,000	4,773,000	702,000	
(内訳)	954,000 100,000 4,421,000	1,060,000 100,000 3,613,000	△ 106,000 0 808,000	県総文祭県補助金 下松市補助金 全総文祭県補助金
調整基金から繰入	2,000,000	0	2,000,000	
雑 収 入	3,713	4,501	△ 788	利息
合 計	26,230,000	24,153,000	2,077,000	

(支出の部)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減 (△減)	摘 要
運 営 費	1,147,600	1,167,600	△ 20,000	
(内訳)				
事務用品費	220,000	220,000	0	事務用品、写真、事務機器維持
通 信 費	400,000	420,000	△ 20,000	電話 郵便 運送料等
分 担 金	527,600	527,600	0	全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金
会 議 費	2,040,000	1,730,000	310,000	全国会議126万 研究大会15万 県内会議63万
事 業 費	21,124,467	18,232,797	2,891,670	
(内訳)				
県 総 文 祭	7,788,532	8,099,220	△ 310,688	総合開会式 各部門大会開催費 (別紙)
全 総 文 祭	8,641,935	4,598,577	4,043,358	生徒旅費468万 引率旅費331万 運送費65万
自 主 事 業	1,668,000	2,394,000	△ 726,000	8公演
大会補助金	50,000	50,000	0	盲・聾・養護学校文化祭
専門部会費	1,896,000	1,891,000	5,000	研修費 通信費 各部門全国分担金
印 刷 費	1,080,000	1,200,000	△ 120,000	高文連集録 会報 県総文ポスター
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	1,917,933	3,022,603	△ 1,104,670	
合 計	26,230,000	24,153,000	2,077,000	

平成17年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計から繰入	今年度末残高
13,000,000	2,000,000	11,000,000

山口県高等学校文化連盟規約

平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月15日改正

第 1 章 総 則

(名称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校並びに高等部を設置している盲学校、聾学校及び養護学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | | | |
|---------|--------------------|------------|-----|
| (1) 会 長 | 1人 | (5) 専門部会長 | 14人 |
| (2) 副会長 | 若干人 | (6) 専門部理事長 | 14人 |
| (3) 評議員 | 95人以上（会長及び副会長を含む。） | (7) 監 事 | 2人 |
| (4) 支部長 | 7人 | (8) 参 与 | 若干人 |

(役員を選出)

第8条 役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

(4) 監事は、評議員の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。

(3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。

(4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。

(5) 監事は、会計を監査する。

(6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校に在籍する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを召集する。

(1) 評議員会 (2) 企画運営委員会 (3) 理事長会

2 会議の議長は、会長がこれに当たる。

3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事項 (2) 予算及び決算に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 評議員から委任された事項 (2) 会議の運営及び執行に関する事項

(3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。

3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。

4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

(1) 企画運営委員会から委任された事項 (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の分担金、県内の高等学校等の生徒の会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟 諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定

平成4年4月1日改正

平成5年4月1日改正

平成8年4月11日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、会費を納入するものとする。

＜会費内訳＞ 各高等学校生徒一人当たり1年に（全日制生徒）……………350円
（定時制、盲、聾、養護学校高等部生徒）……………50円
各学校負担金（定時制、盲学校、聾学校、及び養護学校は除く）
……………学級数×100円

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年 4 月 1 日制定

昭和62年 7 月14日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長

(2) 事務局員 ア 総務係

イ 庶務係

ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。

第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年 4 月 1 日から実施する。

[表彰規程]

昭和62年 4 月 1 日制定

昭和62年 7 月14日改正

平成元年 4 月 1 日改正

平成 2 年 4 月11日改正

平成 6 年 4 月 1 日改正

平成 8 年 4 月 1 日改正

平成15年 4 月 1 日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの。

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数300名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者。

(2) 芸術文科活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。
(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の受賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月25日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正

- 1 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。
- 2 県総文の運営に関する旅費は、依託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。
- 3 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。
生徒は〔交通費実費(学割・団体割引) + 宿泊費(大会規定料金) × 2泊〕 × 1/3とする。
※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)
- 4 専門部会長及び支部長が、県高等学校総合文化祭運営協議会(顧問会議、支部会議等)を開催する場合は、出席者の在籍する各学校でこれを負担するものとする。

平成16年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長	中 島 俊 泰		山 口 中 央 高 校
副 会 長	斎 藤 等		岩 国 高 校
〃	内 田 光 邦		下 関 西 高 校
〃	浜 村 一 穂		宇部フロンティア大学付属香川高校
参 与	沖 浦 初 孝		山 口 高 校
支 部 長	斎 藤 等	岩 国 支 部	岩 国 高 校
〃	鬼 村 悦 男	柳 井 支 部	柳 井 高 校
〃	棟 久 郁 夫	徳 山 支 部	徳 山 高 校
〃	中 島 俊 泰	山 防 支 部	山 口 中 央 高 校
〃	兼 石 俊 明	宇 部 支 部	宇 部 高 校
〃	奥 野 信 昭	下 関 支 部	下 関 南 高 校
〃	山 下 浩	長 北 支 部	萩 高 校
専 門 部 会 長	西 村 靖 昭	演 劇 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校
〃	奥 野 信 昭	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
〃	山 下 浩	合 唱 部 門	萩 高 校
〃	山 根 多 野 眞 路	吹 奏 楽 部 門	岩 国 商 業 高 校
〃	内 藤 ト モ コ	マーチングバンド・ バトントワリング部 門	佐 波 高 校
〃	木 村 晋	日 本 音 楽 部 門	田 布 施 農 業 高 校
〃	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
〃	山 本 信 夫	美 術 ・ 工 芸 部 門	宇 部 商 業 高 校
〃	伊 東 孝 夫	書 道 部 門	防 府 高 校
〃	金 田 重 之	写 真 部 門	光 高 校
〃	兼 石 俊 明	囲 碁 部 門	宇 部 高 校
〃	下 村 宗 生	放 送 部 門	岩 国 総 合 高 校
〃	伊 東 孝 夫	将 棋 部 門	防 府 高 校
〃	山 下 浩	文 芸 部 門	萩 高 校
専 門 部 理 事 長	村 岡 圭 吾	演 劇 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校
〃	飯 田 幸 生	器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	下 関 南 高 校
〃	有 富 美 子	合 唱 部 門	萩 高 校
〃	藤 本 博 途	吹 奏 楽 部 門	岩 国 商 業 高 校
〃	熊 野 文 政	マーチングバンド・ バトントワリング部 門	佐 波 高 校
〃	宮 本 睦 美	日 本 音 楽 部 門	田 布 施 農 業 高 校
〃	(休 部)	吟 詠 剣 詩 舞 部 門	(休 部)
〃	古 賀 隆 光	美 術 ・ 工 芸 部 門	宇 部 商 業 高 校
〃	有 富 由 美	書 道 部 門	防 府 高 校
〃	佃 幸 憲	写 真 部 門	光 高 校
〃	藤 原 信 二	囲 碁 部 門	宇 部 高 校
〃	大 島 信 子	放 送 部 門	岩 国 総 合 高 校
〃	岡 茂 樹	将 棋 部 門	防 府 高 校
〃	萩 原 直 子	文 芸 部 門	萩 高 校
監 事	中 村 行 宣		防 府 商 業 高 校
〃	野 村 稔		西 京 高 校
事 務 局 長	角 中 悦 太 郎		山 口 中 央 高 校
総 務	柴 崎 正 比 古		山 口 中 央 高 校
庶 務	新 竹 伸 芳		山 口 中 央 高 校
会 計	豊 川 眞 利 子		山 口 中 央 高 校

平成17年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部 ・ 専 門 部	所 属 校
会 長 副 会 長 〃 〃	中 島 俊 泰 齋 藤 等 貞 末 俊 裕 浜 村 一 穂		山 口 中 央 高 校 岩 国 高 校 下 関 西 高 校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参 与	沖 浦 初 孝		山 口 高 校
支 部 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃	齋 藤 等 平 川 芳 孝 棟 久 郁 夫 中 島 俊 泰 金 田 重 之 貞 末 俊 裕 山 下 浩	岩 国 支 部 柳 井 支 部 徳 山 支 部 山 口 中 央 支 部 宇 部 支 部 下 関 支 部 長 北 支 部	岩 国 高 校 柳 井 高 校 徳 山 高 校 山 口 中 央 高 校 宇 部 高 校 下 関 西 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	小 田 穰 亮 江 原 健 二 橋 田 章 山 根 多 野 眞 路 小 田 穰 亮 吉 富 博 (休 部) (金 田 重 孝 之 夫 伊 東 中 幸 雄 弘 金 田 重 之 孝 金 沖 浦 初 孝 夫 木 伊 東 村 繁	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 宇 部 中 央 高 校 岩 国 商 業 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 早 鞆 高 校 (休 部) 宇 部 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 山 口 高 校 防 府 高 校 高 森 高 校
専 門 部 理 事 長 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	村 岡 圭 吾 飯 田 幸 生 三 好 五 郎 藤 本 博 途 縄 田 道 孝 子 田 邊 亨 子 (休 部) (古 休 賀 隆 光 有 富 由 美 佃 幸 憲 松 田 伸 雄 吉 川 佳 子 岡 川 茂 樹 森 山 和 子	演 劇 部 門 器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチングバンド・部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術 ・ 工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 宇 部 中 央 高 校 岩 国 商 業 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 早 鞆 高 校 (休 部) 宇 部 高 校 防 府 高 校 光 高 校 宇 部 高 校 山 口 高 校 防 府 高 校 高 森 高 校
監 事 〃	中 村 行 宣 野 村 稔		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長 総 務 庶 務 庶 務 会 計	角 中 悦 太 郎 柴 崎 正 比 古 新 竹 伸 芳 実 近 佳 明 豊 川 眞 利 子		山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校 山 口 中 央 高 校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向 川 栄 美 作詞

乗 松 美 紀 作曲



1. てをのばせば ほら きつとだれかがささえてくれる
2. よびかければ ほら きつとだれかがこたえてくれる



みーわたせ ー ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひら け ば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



はくらのぶんか を つく る ため ー に
はくらのぶんか を きず く ため ー に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きつと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きつと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ 翔はばたこう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

「高文連」編集委員

(各 部 門)

合 唱	有 富 美 子	(県 立 萩 高 等 学 校)
マーチングバンド バトントワリング	熊 野 文 政	(県 立 佐 波 高 等 学 校)
器 楽 ・ 管 弦 楽	飯 田 幸 生	(県 立 下 関 南 高 等 学 校)
吹 奏 楽	藤 本 博 途	(県 立 岩 国 商 業 高 等 学 校)
演 劇	村 岡 圭 吾	(山 口 県 鴻 城 高 等 学 校)
日 本 音 楽	宮 本 睦 美	(県 立 田 布 施 農 業 高 等 学 校)
美 術 ・ 工 芸	古 賀 隆 光	(県 立 宇 部 商 業 高 等 学 校)
書 道	有 富 由 美	(県 立 防 府 高 等 学 校)
写 真	佃 幸 憲	(県 立 光 高 等 学 校)
囲 碁	藤 原 信 二	(県 立 宇 部 高 等 学 校)
将 棋	岡 茂 樹	(県 立 防 府 高 等 学 校)
放 送	大 島 信 子	(県 立 岩 国 総 合 高 等 学 校)
文 芸	萩 原 直 子	(県 立 萩 高 等 学 校)

(事 務 局)

事 務 局 長	角 中 悦 太 郎	(県 立 山 口 中 央 高 等 学 校)
総 務	柴 崎 正 比 古	()
庶 務	新 竹 伸 芳	()
会 計	豊 川 眞 利 子	()

.....

平成16年度
山口県高等学校文化連盟集録
「 高 文 連 」

編集・発行 山口県高等学校文化連事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-932-0818
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／山根 千佳（山口中央高校2年）

